

2019 年度

『授業改善のための学生アンケート調査』
の結果および評価報告書
(後期)

北海商科大学

目 次

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について	1
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	1
2. 調査の実施方法	1
3. アンケート回収結果	1
4. アンケート調査票	2
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	4
II. 集計結果について	7
1. 全科目の単純集計結果について	7
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	10

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学にかせられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく教育方法改善委員会のもとで2009年度～2018年度に引き続き、開講されている全授業科目を対象にアンケート調査を実施しました。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2017年度後期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告致します。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：調査票アンケート用紙を配付・回収
- (2) 調査期間：2019年度 後期 11月第5週（11月25日～11月30日）
- (3) 調査対象：後期開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含むすべての授業）
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。学生の講義選択動機、受講姿勢、授業評価などに関する「選択式質問 20項目」と「自由記述欄 3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1、表2の通りです。なお、表1の「(C)実施率」が100%を下回るのは、「当該開講科目の履修者がいなかった」「アンケート実施日に欠席した」などの理由によります。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A)対象科目数	(B)実施科目数	(C)実施率(B/A)	(D)対象科目受講者数	(E)実施科目回答者数	(F)回答率(E/D)
(1)語学	8	8	100.0%	146	113	77.4%
(2)社会と文化	26	25	96.2%	1,369	910	66.5%
(3-1)専門基礎講義科目	6	6	100.0%	433	306	70.7%
(3-2)専門基礎実習科目	8	8	100.0%	213	158	74.2%
(4)専門関連科目	27	26	96.3%	922	601	65.2%
(5)商学科専門科目	42	38	90.5%	1,226	711	58.0%
(6)観光産業学科専門科目	26	25	96.2%	770	566	73.5%
(7)専門キャリアアップ科目	13	12	92.3%	199	172	86.4%
(8)教職に関する科目	10	10	100.0%	89	78	87.6%
(9)留学生プログラム	5	5	100.0%	39	31	79.5%
合計	171	163	95.3%	5,406	3,646	67.4%

表2 授業科目カテゴリー別学年別回答者数内訳

授業科目カテゴリー	1年	2年	3年	4年	留学生	無回答	合計
(1)語学	76	31		1		5	113
(2)社会と文化	808	21	28	23	4	26	910
(3-1)専門基礎講義科目		292	6	1		7	306
(3-2)専門基礎実習科目		148	2			8	158
(4)専門関連科目		182	343	53	5	18	601
(5)商学科専門科目		273	390	32	4	12	711
(6)観光産業学科専門科目		203	298	34	19	12	566
(7)専門キャリアアップ科目		27	134	5	2	4	172
(8)教職に関する科目	7	24	28	19			78
(9)留学生プログラム					31		31
合計	891	1,201	1,229	168	65	92	3,646

授業コード 科目名

Q 2 1 この授業でとくに良かった点は何ですか。

--

Q 2 2 この授業でとくに改善してほしい点は何ですか。

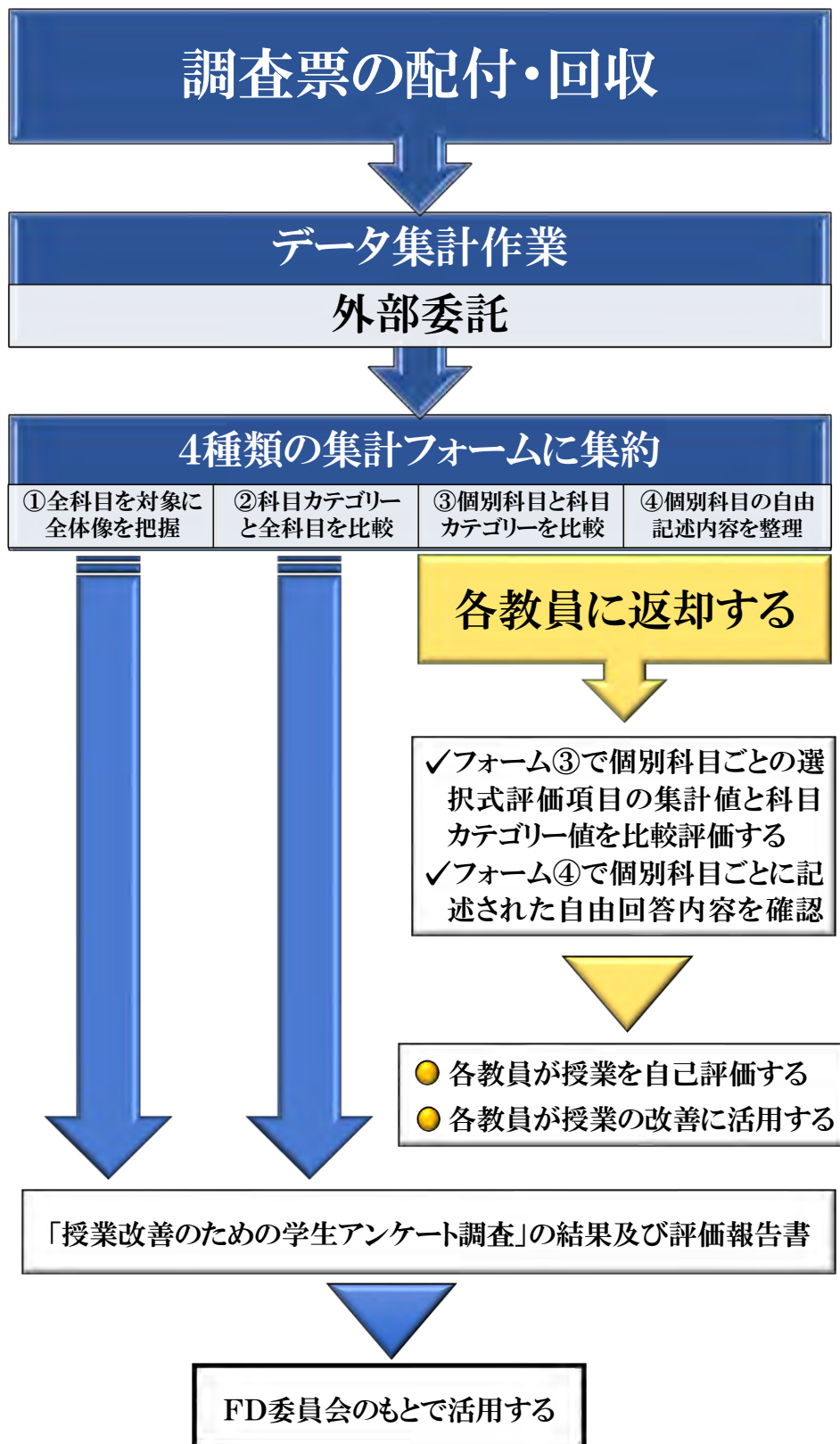
--

Q 2 3 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの主旨に反しますので、ご注意ください。)

--

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



授業アンケート結果集計表

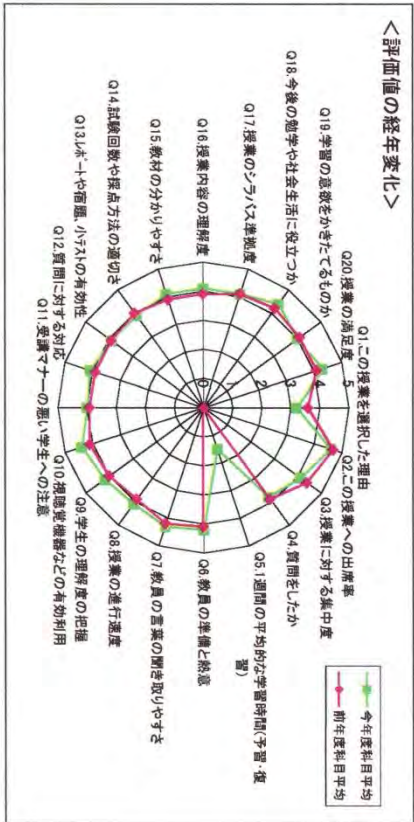
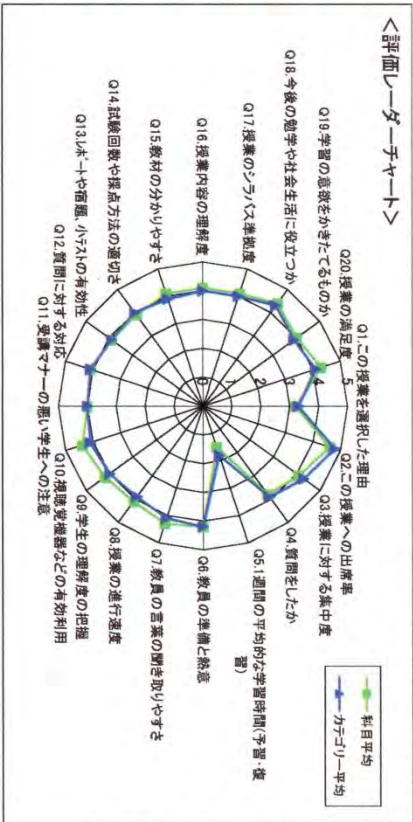
(教員返却用集計フォーム③サンプル)

20XX年度後期 北海商科大学

教員名	(教員コード) 教員名	履修者数	XX名
科目名	(科目コード) 科目名	回収数	YY枚
カテゴリー	(カテゴリーNO) カテゴリー名	回収率	ZZ.7%

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1		
01.この授業を選択した理由	0	3	13	0	0	3.2	3.3
	0.0%	18.8%	81.3%	0.0%	0.0%	0.39	0.57
02.この授業への出席率	9	7	0	0	0	4.6	4.8
	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.44
03.授業に対する集中度	2	14	0	0	0	4.1	4.3
	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.33	0.79
04.質問をしたか	2	11	1	2	0	3.8	3.9
	12.5%	68.8%	6.3%	12.5%	0.0%	0.81	1.03
05.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	0	1	1	3	10	1.5	1.8
	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	62.5%	0.89	1.30
06.教員の準備と熱意	6	7	3	0	0	4.2	4.2
	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.73	0.94
07.教員の言葉の聞き取りやすさ	7	6	3	0	0	4.3	4.1
	43.8%	37.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.75	0.96
08.授業の進行速度	6	6	3	1	0	4.1	3.9
	37.5%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.90	1.00
09.学生の理解度の把握	6	7	3	0	0	4.2	4.0
	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.73	0.99
10.視聴覚機器などの有効利用	8	6	2	0	0	4.4	4.1
	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.70	0.84
11.受講データの悪い学生への注意	4	7	4	0	1	4.0	4.0
	25.0%	43.8%	25.0%	0.0%	6.3%	0.73	0.83
12.質問に対する対応	6	6	4	0	0	4.1	4.1
	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.78	0.89
13.レポートや宿題、小テストの有効性	3	8	3	1	1	3.9	3.9
	18.8%	50.0%	18.8%	6.3%	6.3%	0.81	0.91
14.試験回数や採点方法の適切さ	3	9	4	0	0	3.9	4.0
	18.8%	56.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.66	0.90
15.教材の分かりやすさ	6	6	4	0	0	4.1	3.9
	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.78	0.91
16.授業内容の理解度	5	7	4	0	0	4.1	4.0
	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.75	0.91
17.授業のシラバスの理解度	3	9	2	0	0	4.1	4.0
	18.8%	56.3%	12.5%	0.0%	12.5%	0.59	0.88
18.今後の勉学や社会生活に役立つか	9	5	2	0	0	4.4	4.3
	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.71	0.85
19.学習の意欲をかきたてるものか	3	10	3	0	0	4.0	3.9
	18.8%	62.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.61	0.89
20.授業の満足度	8	5	3	0	0	4.3	4.1
	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.77	0.95

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



※05は新規項目の為、前年度科目平均はありません。

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

自由記述一覧

(教員返却用集計フォーム④ サンプル)

20XX 年度後期 北海商科大学

教員名： (教員コード) 教員名

科目名： (科目コード) 科目名

Q21 この授業でとくに良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	配布プリントがとても見やすく、理解しやすかった。また授業もわからない部分はしっかり教えてくれた。

Q22 この授業でとくに改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

Q23 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの主旨に反しますので、ご留意下さい。)

項番	内 容
1	××××の資格を持っていたら、単位認定などの優遇があれば良いと思う。



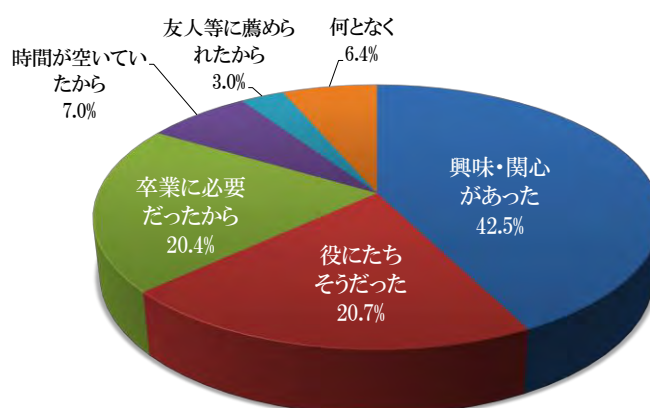
II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

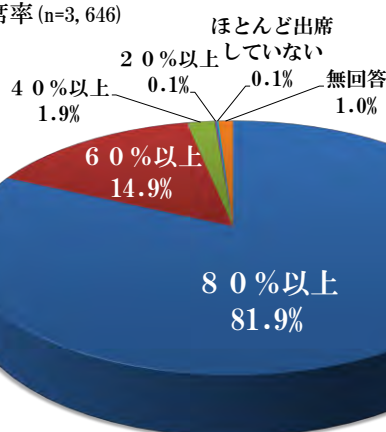
ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1、Q2)

Q 1. 授業を選択した理由 (n=3, 646)



Q 2. 授業への出席率 (n=3, 646)

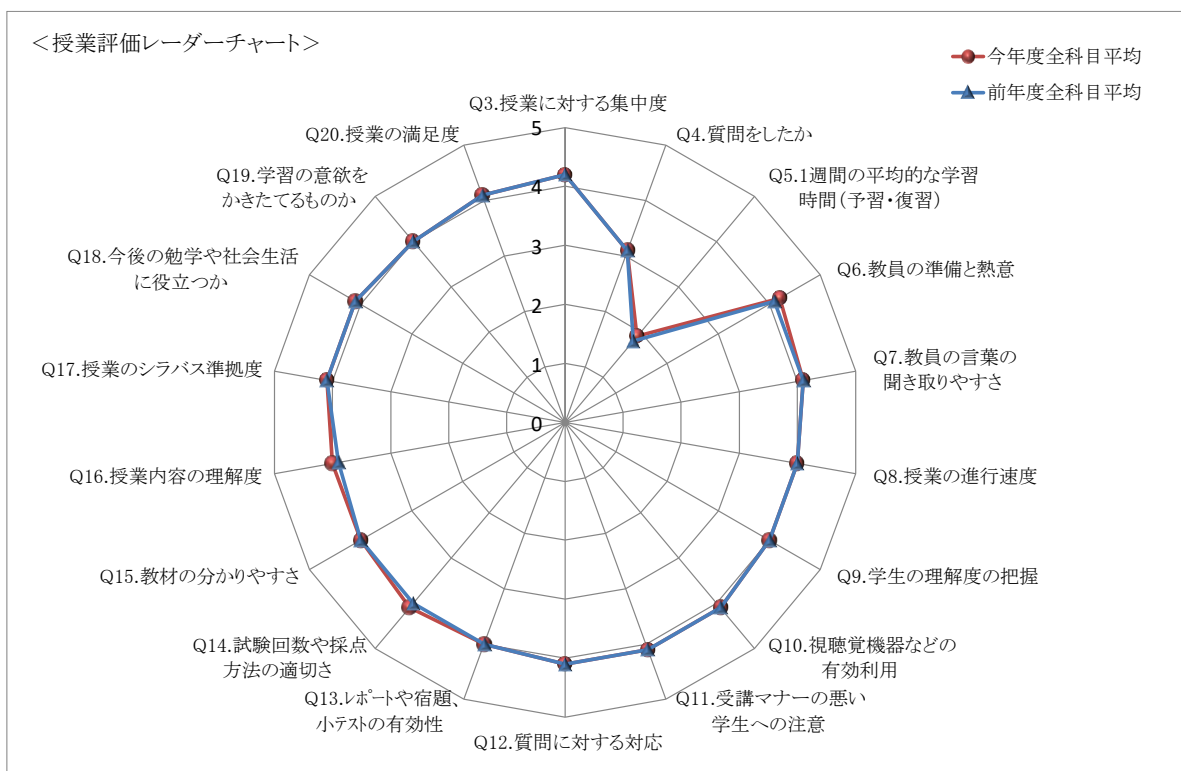
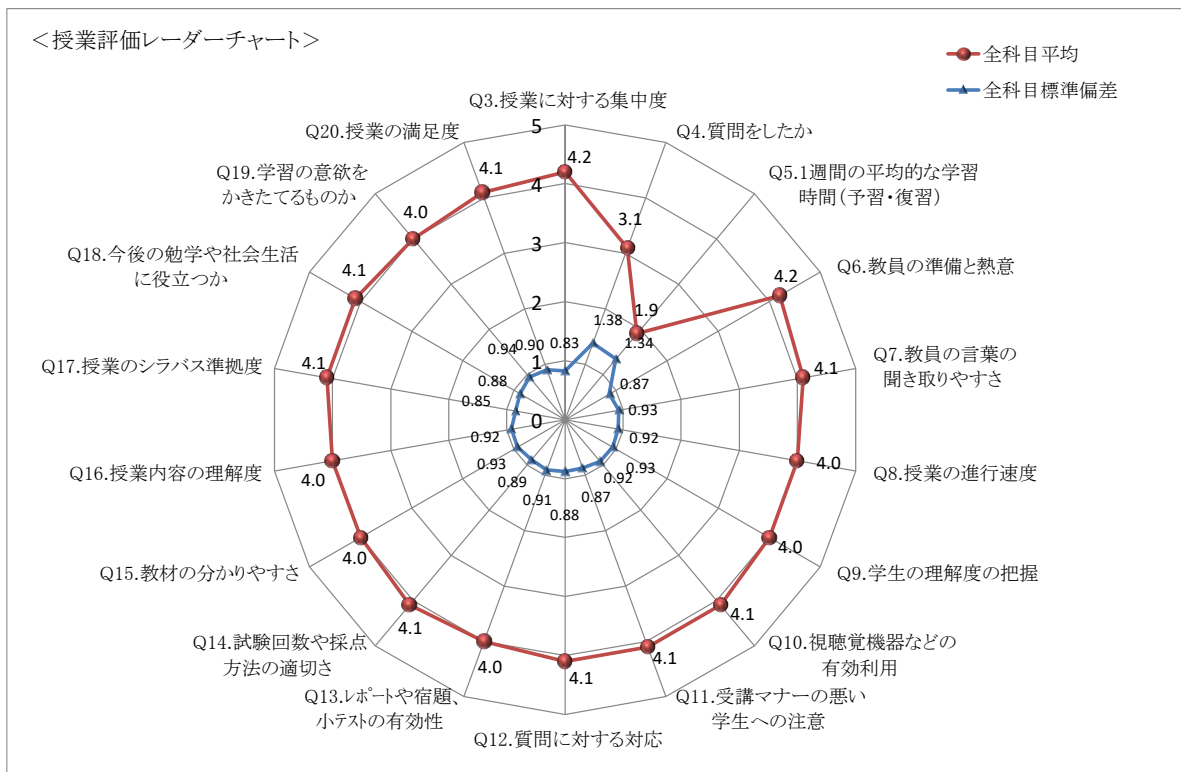


(2) 学生の受講姿勢 (Q3～Q5) と授業評価 (Q6～Q20) について

Q3～Q5までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は全科目の平均で「4.2」でしたが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、Q3と比較すると低い値の「3.1」であることから、積極性に問題点がありそうです。一方、学習量や学習の主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」では、「1時間未満」とした回答が56.5%と最も多く、以下「1時間以上2時間未満」が18.2%、「2時間以上3時間未満」が8.7%と続き、「4時間以上」は回答者全体の10.9%でした。これらのことから、全般的に学習時間が不足しているように思われます。ただしQ4、Q5については、標準偏差が1.38、1.34であり、他の質問項目と比較してかなり大きいことから、受講姿勢や学習時間には個人差がみられます（p. 8, 9参照）。Q6～Q20までの授業評価については以下の通りです。「Q6. 教員の準備と熱意」の平均値は最

も高く「4.2」でした。「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」「Q12. 質問に対する対応」「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」「Q17. 授業のシラバス準拠度」「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」「Q20. 授業の満足度」等の8項目で平均値が「4.1」となっています。それ以外の6項目で平均値は「4.0」であり、すべての項目で平均値は「4」以上の評価を得ています。以上から、全体として満足できる範疇にあるといえるでしょう。また各回答のバラツキの程度を表す標準偏差は全項目で「1」未満で小さく、質問項目間で大きな差は見受けられません。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					上段: 平均値 下段: 標準偏差	
	5	4	3	2	1	無回答	全科平均
Q3.授業に対する集中度	1,511	1,491	461	110	22	51	4.2
	41.4%	40.9%	12.6%	3.0%	0.6%	1.4%	0.83
Q4.質問をしたか	744	702	1,012	363	675	150	3.1
	20.4%	19.3%	27.8%	10.0%	18.5%	4.1%	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	397	111	316	664	2,061	97	1.9
	10.9%	3.0%	8.7%	18.2%	56.5%	2.7%	1.34
Q6.教員の準備と熱意	1,539	1,195	732	49	38	93	4.2
	42.2%	32.8%	20.1%	1.3%	1.0%	2.6%	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	1,497	1,165	795	79	57	53	4.1
	41.1%	32.0%	21.8%	2.2%	1.6%	1.5%	0.93
Q8.授業の進行速度	1,342	1,126	969	74	45	90	4.0
	36.8%	30.9%	26.6%	2.0%	1.2%	2.5%	0.92
Q9.学生の理解度の把握	1,356	1,105	945	81	51	108	4.0
	37.2%	30.3%	25.9%	2.2%	1.4%	3.0%	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	1,528	1,051	874	50	50	93	4.1
	41.9%	28.8%	24.0%	1.4%	1.4%	2.6%	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	1,468	1,141	855	61	22	99	4.1
	40.3%	31.3%	23.5%	1.7%	0.6%	2.7%	0.87
Q12.質問に対する対応	1,386	1,093	895	36	30	206	4.1
	38.0%	30.0%	24.5%	1.0%	0.8%	5.7%	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	1,255	1,034	1,051	56	37	213	4.0
	34.4%	28.4%	28.8%	1.5%	1.0%	5.8%	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	1,278	1,010	942	40	28	348	4.1
	35.1%	27.7%	25.8%	1.1%	0.8%	9.5%	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	1,339	1,055	1,030	60	46	116	4.0
	36.7%	28.9%	28.3%	1.6%	1.3%	3.2%	0.93
Q16.授業内容の理解度	1,245	1,211	969	93	48	80	4.0
	34.1%	33.2%	26.6%	2.6%	1.3%	2.2%	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	1,295	1,085	871	22	19	354	4.1
	35.5%	29.8%	23.9%	0.6%	0.5%	9.7%	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	1,349	1,204	881	41	41	130	4.1
	37.0%	33.0%	24.2%	1.1%	1.1%	3.6%	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	1,297	1,114	1,003	62	62	108	4.0
	0.9%	30.6%	27.5%	1.7%	1.7%	3.0%	0.94
Q20.授業の満足度	1,441	1,175	854	57	48	71	4.1
	39.5%	32.2%	23.4%	1.6%	1.3%	1.9%	0.90



一方、Q21～Q23の自由記述欄への回答に関しては、以下の通りです。「Q21. この授業でとくに良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で471件の回答がありました。これに対し「Q22. この授業でとくに改善して欲しい点は何ですか」は40%弱の183件ありました。一方「Q23. その他の意見・要望があれば記入してください」についても67件の回答が寄せられました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において触れます。なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業展開時に授業改善に向けた参考資料として活用されることとなります。

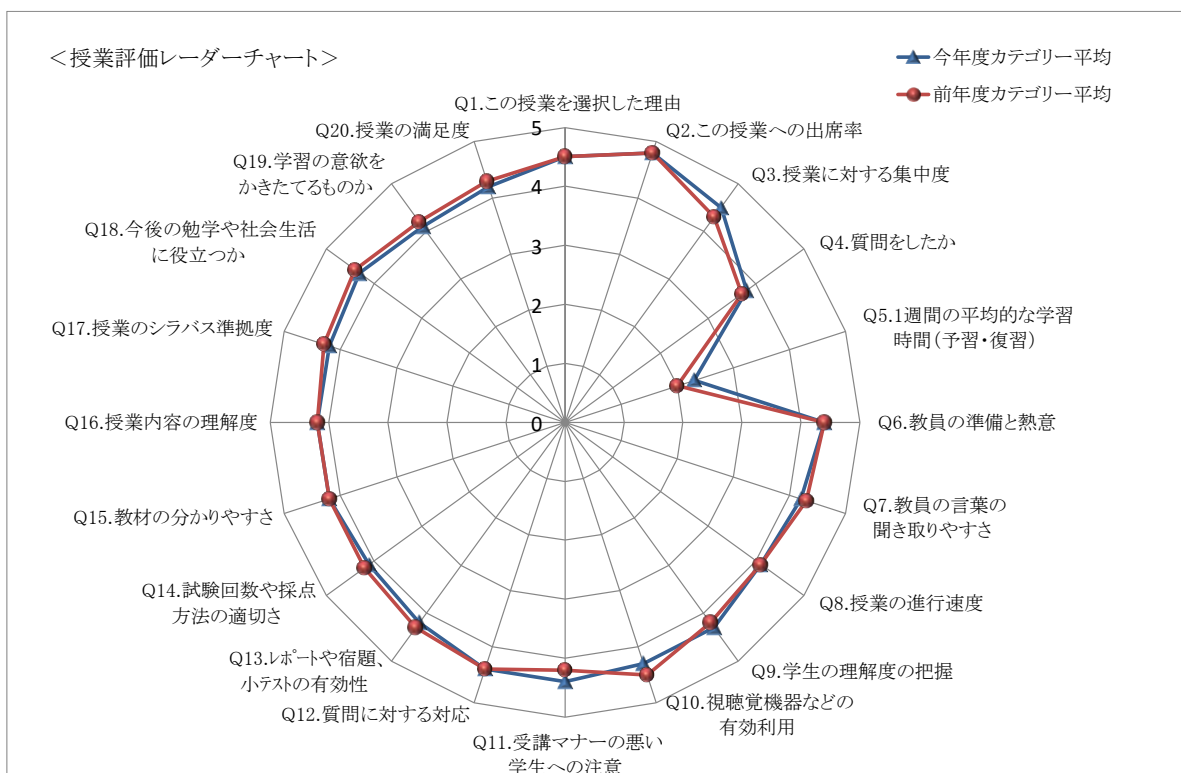
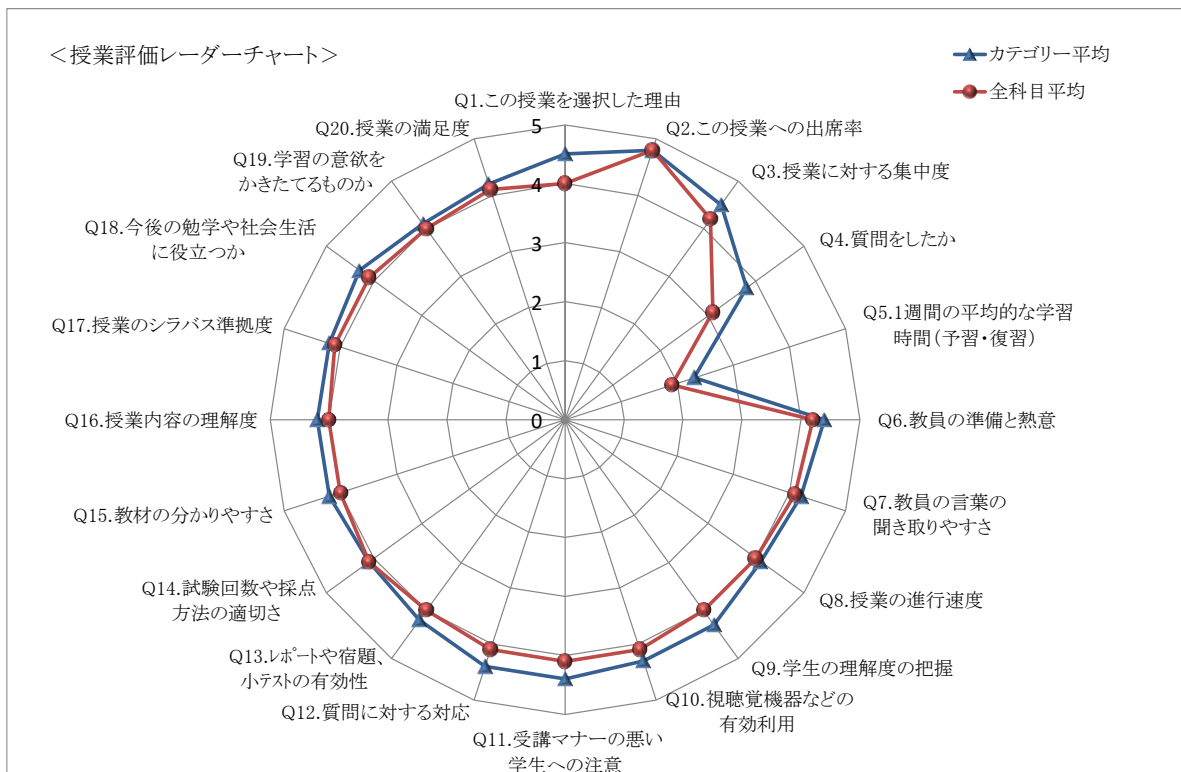
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。なお、「留学生プログラム」カテゴリーは検討対象としていません。

<異文化交流科目：語学>

異文化交流科目のうち語学における「授業評価」の全体的な傾向は、以下の表やレーダーチャートからわかるように、多くの項目で前年度平均と同じであり、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」と「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」は前年度よりも改善されています。また、全科目の平均とカテゴリー平均を比べると、ほぼすべての項目で勝っており、中でも「Q4. 質問をしたか」の項目については、圧倒的に回数が多いことがわかります。少人数の語学教育だからこそ、双方向のやりとりが増え、満足度の高い授業環境になっていると言えます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選じた理由	63	39	5	3	0	3	4.5	4.0
	55.8%	34.5%	4.4%	2.7%	0.0%	2.7%	0.71	1.12
Q2.この授業への出席率	92	18	1	1	0	1	4.8	4.8
	81.4%	15.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	0.48	0.47
Q3.授業に対する集中度	56	52	2	1	0	2	4.5	4.2
	49.6%	46.0%	1.8%	0.9%	0.0%	1.8%	0.58	0.83
Q4.質問をしたか	31	46	16	13	4	3	3.8	3.1
	27.4%	40.7%	14.2%	11.5%	3.5%	2.7%	1.09	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	14	7	15	37	38	2	2.3	1.9
	12.4%	6.2%	13.3%	32.7%	33.6%	1.8%	1.33	1.34
Q6.教員の準備と熱意	61	34	14	0	0	4	4.4	4.2
	54.0%	30.1%	12.4%	0.0%	0.0%	3.5%	0.71	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	50	41	18	3	0	1	4.2	4.1
	44.2%	36.3%	15.9%	2.7%	0.0%	0.9%	0.81	0.93
Q8.授業の進行速度	41	43	25	3	0	1	4.1	4.0
	36.3%	38.1%	22.1%	2.7%	0.0%	0.9%	0.83	0.92
Q9.学生の理解度の把握	49	46	12	3	1	2	4.3	4.0
	43.4%	40.7%	10.6%	2.7%	0.9%	1.8%	0.82	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	53	42	15	0	0	3	4.3	4.1
	46.9%	37.2%	13.3%	0.0%	0.0%	2.7%	0.71	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	56	42	13	0	0	2	4.4	4.1
	49.6%	37.2%	11.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.69	0.87
Q12.質問に対する対応	55	44	12	0	0	2	4.4	4.1
	48.7%	38.9%	10.6%	0.0%	0.0%	1.8%	0.67	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	44	47	17	2	0	3	4.2	4.0
	38.9%	41.6%	15.0%	1.8%	0.0%	2.7%	0.76	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	41	45	22	1	1	3	4.1	4.1
	36.3%	39.8%	19.5%	0.9%	0.9%	2.7%	0.82	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	43	46	22	0	0	2	4.2	4.0
	38.1%	40.7%	19.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.74	0.93
Q16.授業内容の理解度	45	45	19	3	1	0	4.2	4.0
	39.8%	39.8%	16.8%	2.7%	0.9%	0.0%	0.86	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	42	43	22	0	0	6	4.2	4.1
	37.2%	38.1%	19.5%	0.0%	0.0%	5.3%	0.75	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	51	40	17	0	1	4	4.3	4.1
	45.1%	35.4%	15.0%	0.0%	0.9%	3.5%	0.79	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	44	43	20	1	2	3	4.1	4.0
	38.9%	38.1%	17.7%	0.9%	1.8%	2.7%	0.87	0.94
Q20.授業の満足度	47	42	20	2	0	2	4.2	4.1
	41.6%	37.2%	17.7%	1.8%	0.0%	1.8%	0.80	0.90

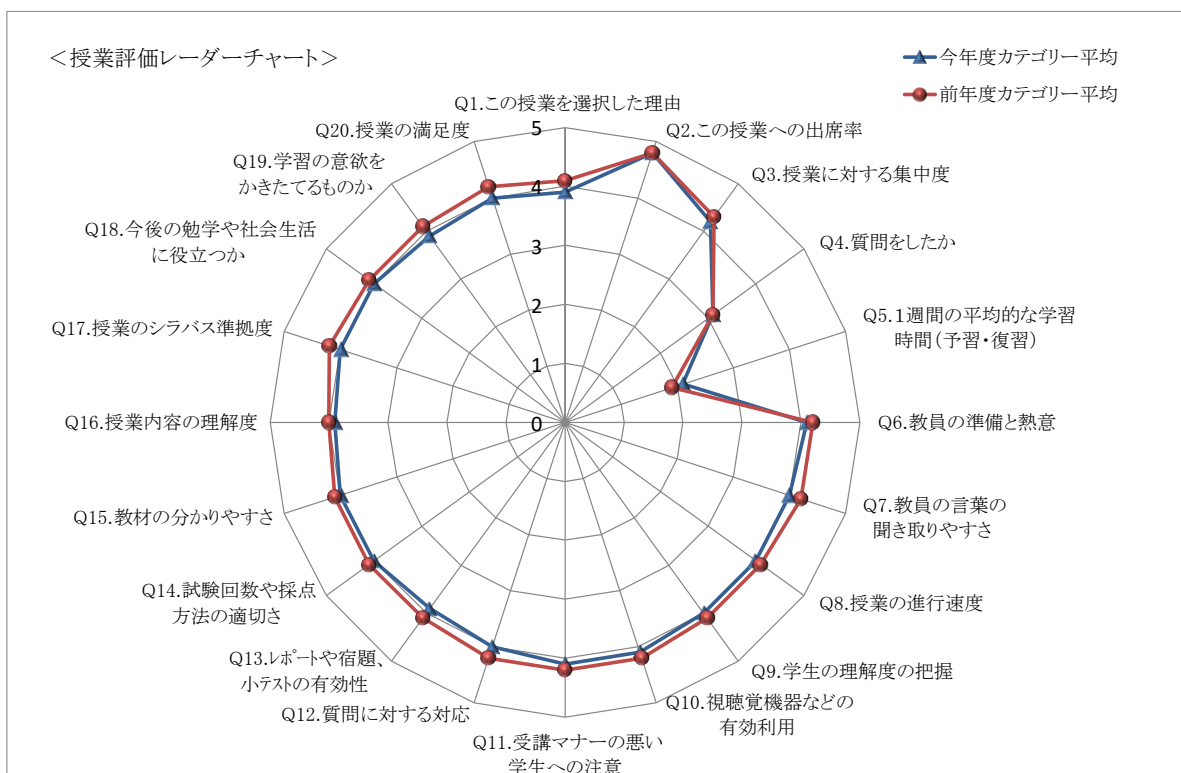
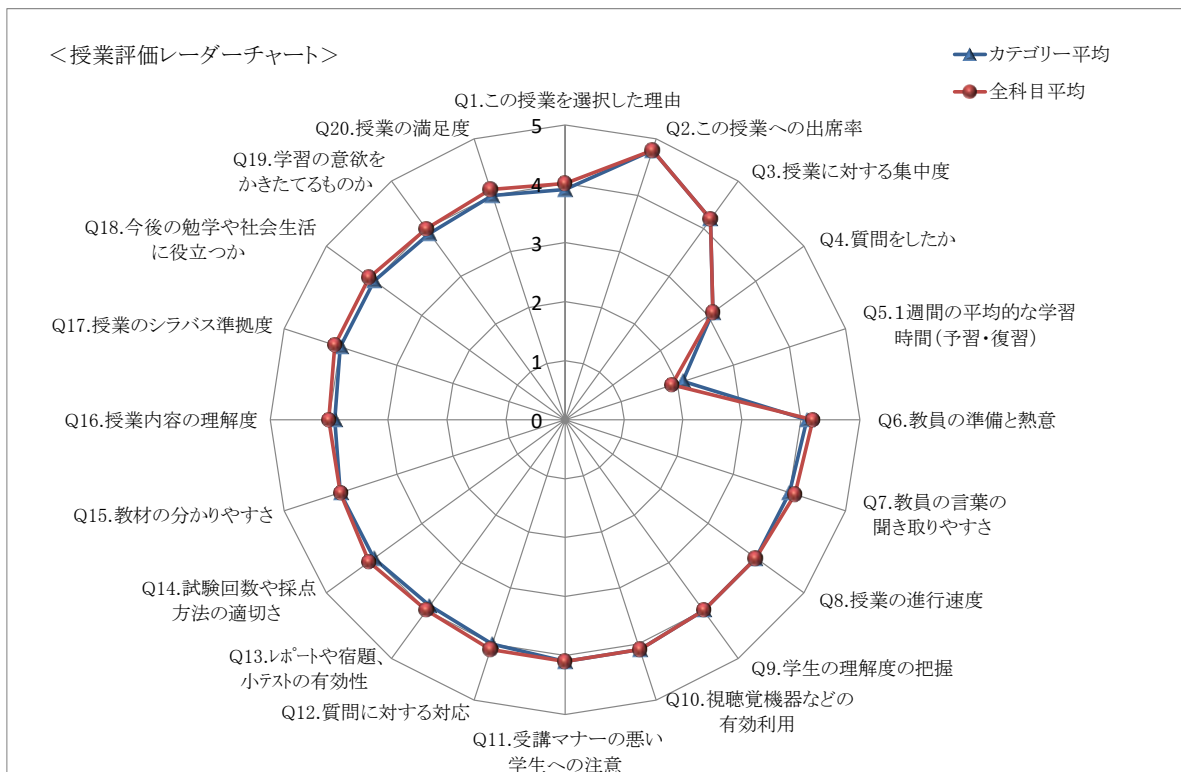


「自由記述」においては、英会話・中国語・韓国語すべての語学において「ネイティブの発音指導」が受けられることの喜びの感想がありました。また、教科書だけでなく YouTube などの動画や映像を用いて「ニュースなどを訳したりしてよかった」という意見も韓国語・中国語において多く見られ、その結果「実用的な学習ができた」という多数の記述につながったと思われます。

<異文化交流科目：社会と文化>

異文化交流科目のうち、「社会と文化」についての科目には、講義科目とゼミナールが含まれています。「全科目平均」と比較したレーダーチャートを見てもほぼ平均と一致し、前年度と比較しても、ほぼ全ての項目において同じでした。前年度を上回った唯一の項目は「Q5.1 週間の平均的な学習時間（予習・復習）」でした。この点は講義科目であっても増やすべきであるという認識のもとで教員が意識的に課題等を出した結果と言えます。しかし、それにしてもまだまだ十分な学習時間とは言えません。また、ゼミナールというもっとも各自の学習が要求される授業形態も含んでいるのですから、学生諸君の奮闘も期待したいところです。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	397	150	82	81	77	123	3.9	4.0
	43.6%	16.5%	9.0%	8.9%	8.5%	13.5%	1.38	1.12
Q2.この授業への出席率	783	95	21	1	0	10	4.8	4.8
	86.0%	10.4%	2.3%	0.1%	0.0%	1.1%	0.43	0.47
Q3.授業に対する集中度	372	357	122	28	11	20	4.2	4.2
	40.9%	39.2%	13.4%	3.1%	1.2%	2.2%	0.87	0.83
Q4.質問をしたか	187	149	257	103	172	42	3.1	3.1
	20.5%	16.4%	28.2%	11.3%	18.9%	4.6%	1.39	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	140	28	85	143	477	37	2.1	1.9
	15.4%	3.1%	9.3%	15.7%	52.4%	4.1%	1.49	1.34
Q6.教員の準備と熱意	375	275	195	19	13	33	4.1	4.2
	41.2%	30.2%	21.4%	2.1%	1.4%	3.6%	0.93	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	366	253	219	29	20	23	4.0	4.1
	40.2%	27.8%	24.1%	3.2%	2.2%	2.5%	1.00	0.93
Q8.授業の進行速度	333	253	260	21	14	29	4.0	4.0
	36.6%	27.8%	28.6%	2.3%	1.5%	3.2%	0.95	0.92
Q9.学生の理解度の把握	323	256	256	25	17	33	4.0	4.0
	35.5%	28.1%	28.1%	2.7%	1.9%	3.6%	0.97	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	377	258	219	11	15	30	4.1	4.1
	41.4%	28.4%	24.1%	1.2%	1.6%	3.3%	0.93	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	385	244	218	26	9	28	4.1	4.1
	42.3%	26.8%	24.0%	2.9%	1.0%	3.1%	0.94	0.87
Q12.質問に対する対応	349	235	247	16	15	48	4.0	4.1
	38.4%	25.8%	27.1%	1.8%	1.6%	5.3%	0.96	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	295	220	290	22	19	64	3.9	4.0
	32.4%	24.2%	31.9%	2.4%	2.1%	7.0%	0.99	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	298	220	258	16	14	104	4.0	4.1
	32.7%	24.2%	28.4%	1.8%	1.5%	11.4%	0.96	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	318	247	260	18	18	49	4.0	4.0
	34.9%	27.1%	28.6%	2.0%	2.0%	5.4%	0.97	0.93
Q16.授業内容の理解度	308	259	267	27	22	27	3.9	4.0
	33.8%	28.5%	29.3%	3.0%	2.4%	3.0%	0.99	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	311	285	234	7	9	64	4.0	4.1
	34.2%	31.3%	25.7%	0.8%	1.0%	7.0%	0.88	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	307	278	245	12	22	46	4.0	4.1
	33.7%	30.5%	26.9%	1.3%	2.4%	5.1%	0.96	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	304	247	273	21	25	40	3.9	4.0
	33.4%	27.1%	30.0%	2.3%	2.7%	4.4%	1.00	0.94
Q20.授業の満足度	342	273	234	15	16	30	4.0	4.1
	37.6%	30.0%	25.7%	1.6%	1.8%	3.3%	0.94	0.90



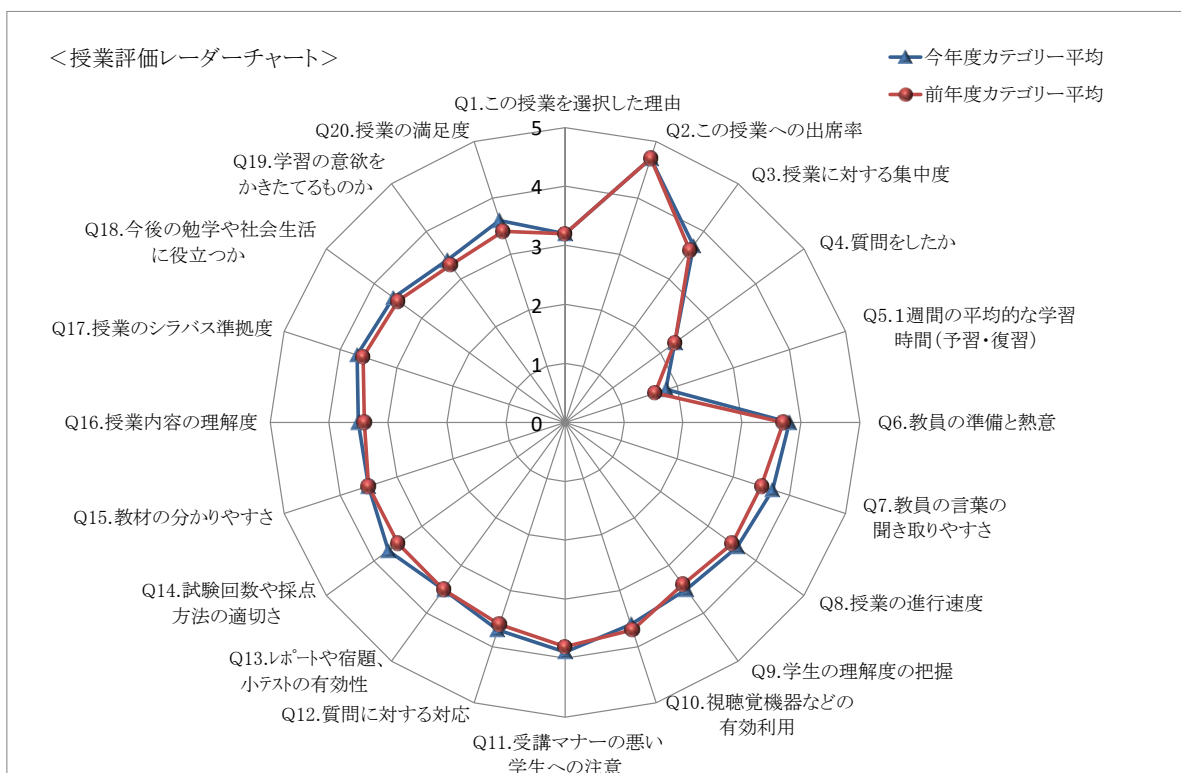
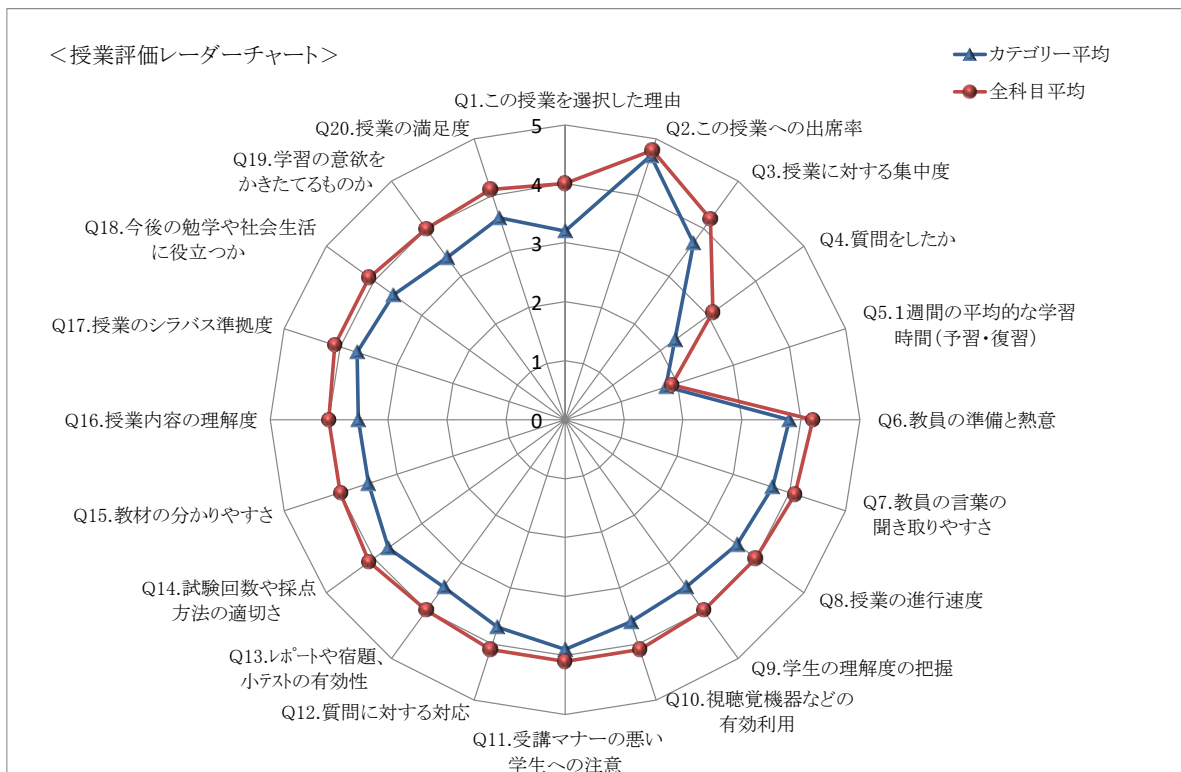
「自由記述」では、学生各々が興味関心のある講義を選択し受講しているため、「おもしろい」「わかりやすい」といった率直な意見が多く見られました。改善点としては昨年に引き続き、板書に関わるものが多く見られました。基本的にスライドを投影して、必要に応じてまれに黒板を使用する講義が多いようですが、そのバランスやスライド説明の速さなど加減が難しいと思われます。また、「質問を当てないでほしい」といった声も例年以上に見受けられましたが、前述の板書の写し方も含め学生側の意識の変化も必要と思わされる結果でした。

<専門基礎講義科目>

専門基礎講義科目（「経済システム理論Ⅱ」および「経済と社会の仕組みⅡ」）のアンケート結果を昨年度同期と比較すると、昨年より評価値が低下した項目はなく、「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q13. レポートや宿題、小テストなどの有効性」、「Q15. 教材のわかりやすさ」については昨年度並みでしたが、これらの項目を除く他の項目では評価値が改善しました。特に、このカテゴリーの科目では低迷気味であった「Q5. 予習・復習」や「Q20. 授業の満足度」などの改善は注目すべき点だと言えます。ただし、Q5については、改善されたとはいえ、依然として低レベルである点には留意する必要があります。

全科目の平均値と専門基礎講義科目の平均値の比較では、「Q2」と「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」を除く全項目について、全科目の評価平均を0.4ポイント程度下回っていますが、この傾向は不本意履修者を含む必修科目の宿命で、今後も変わらないだろうと思われます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	23	16	259	1	0	7	3.2	4.0
	7.5%	5.2%	84.6%	0.3%	0.0%	2.3%	0.57	1.12
Q2.この授業への出席率	229	66	6	0	1	4	4.7	4.8
	74.8%	21.6%	2.0%	0.0%	0.3%	1.3%	0.53	0.47
Q3.授業に対する集中度	65	115	82	36	3	5	3.7	4.2
	21.2%	37.6%	26.8%	11.8%	1.0%	1.6%	0.98	0.83
Q4.質問をしたか	26	26	91	31	122	10	2.3	3.1
	8.5%	8.5%	29.7%	10.1%	39.9%	3.3%	1.32	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	24	15	24	55	182	6	1.8	1.9
	7.8%	4.9%	7.8%	18.0%	59.5%	2.0%	1.25	1.34
Q6.教員の準備と熱意	78	110	94	8	6	10	3.8	4.2
	25.5%	35.9%	30.7%	2.6%	2.0%	3.3%	0.92	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	68	104	105	16	10	3	3.7	4.1
	22.2%	34.0%	34.3%	5.2%	3.3%	1.0%	0.99	0.93
Q8.授業の進行速度	68	68	135	22	7	6	3.6	4.0
	22.2%	22.2%	44.1%	7.2%	2.3%	2.0%	0.99	0.92
Q9.学生の理解度の把握	66	62	136	20	10	12	3.5	4.0
	21.6%	20.3%	44.4%	6.5%	3.3%	3.9%	1.02	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	84	67	117	14	18	6	3.6	4.1
	27.5%	21.9%	38.2%	4.6%	5.9%	2.0%	1.12	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	90	110	90	8	3	5	3.9	4.1
	29.4%	35.9%	29.4%	2.6%	1.0%	1.6%	0.89	0.87
Q12.質問に対する対応	66	86	121	6	5	22	3.7	4.1
	21.6%	28.1%	39.5%	2.0%	1.6%	7.2%	0.90	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	61	66	127	20	8	24	3.5	4.0
	0.9%	21.6%	41.5%	6.5%	2.6%	7.8%	1.00	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	63	79	115	11	6	32	3.7	4.1
	20.6%	25.8%	37.6%	3.6%	2.0%	10.5%	0.95	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	67	69	134	18	12	6	3.5	4.0
	21.9%	22.5%	43.8%	5.9%	3.9%	2.0%	1.03	0.93
Q16.授業内容の理解度	54	76	133	22	10	11	3.5	4.0
	17.6%	24.8%	43.5%	7.2%	3.3%	3.6%	0.98	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	66	76	107	4	6	47	3.7	4.1
	21.6%	24.8%	35.0%	1.3%	2.0%	15.4%	0.93	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	64	68	130	15	10	19	3.6	4.1
	20.9%	22.2%	42.5%	4.9%	3.3%	6.2%	1.00	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	58	61	135	17	20	15	3.4	4.0
	19.0%	19.9%	44.1%	5.6%	6.5%	4.9%	1.08	0.94
Q20.授業の満足度	67	72	135	12	13	7	3.6	4.1
	21.9%	23.5%	44.1%	3.9%	4.2%	2.3%	1.02	0.90

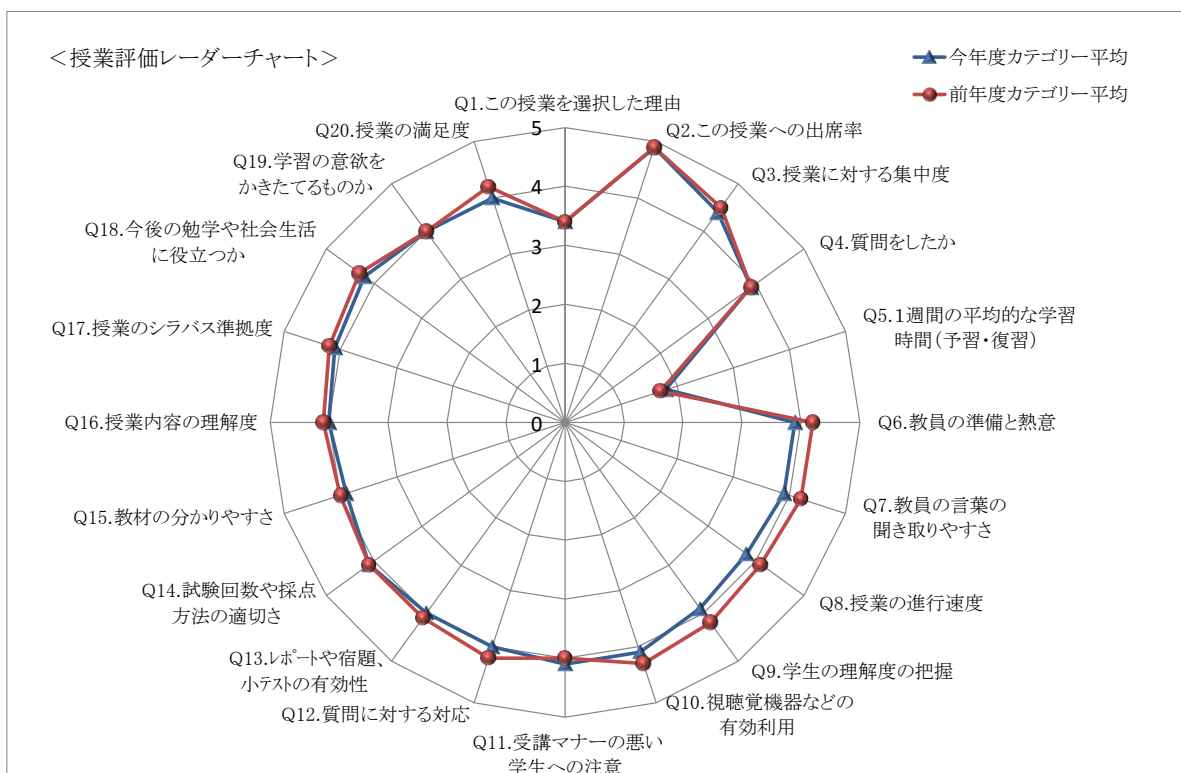
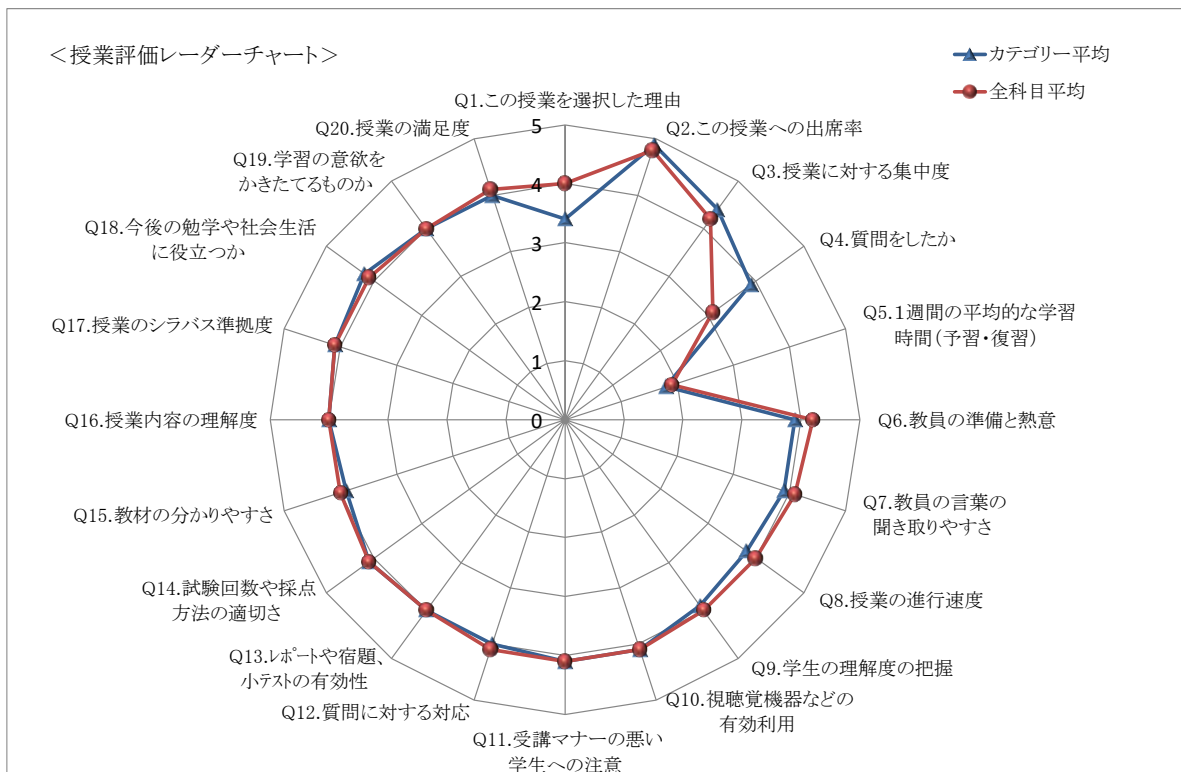


自由記述については、「Q21.良かった点」として、「講義の内容に沿った、その当時の資料映像がたくさん用意されているので、わかりやすい。」、「小テストの実施、理解しやすくとても良かった。」、「講義の進行速度と分かりやすく教えて頂いた。」、「授業が静かで集中できた。」などがありました。「Q22.改善してほしい点」としては、「テストを返却する際、詳しく答を教えてください。」、「授業の時間を守っていただきたい。」、「実践的な授業がもっとほしいです。」、「コースパワーに授業中のパワーポイントをのっけてほしい。」などがありました。

<専門基礎実習科目>

専門基礎実習科目（コンピュータ・リテラシーⅡ）に対する授業評価で、カテゴリーの評価が全科目平均を大きく上回る項目を見ると、「Q4. 質問をしたか」に関して全科目平均が3.1だったのに対し3.9と0.8ポイント高く、積極的な授業参加の態度がみられます。また、全科目平均より0.2ポイント高い項目は「Q3. この授業に対する集中度」、0.1ポイント高いのは「Q2. この授業への出席率」と「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」となっています。全科目平均を下回る項目で目につくのは、「Q1. この授業を選択した理由」に対しての評価が、全科目平均の4.0に対して0.6ポイント下回っていることですが、これは例年の回答傾向であり、本科目が必修科目のためです。昨年度のカテゴリー平均に対して大きく評価が下がった項目はないものの、評価が0.2ポイント下がった項目が3、0.1ポイント下がった項目が5と、やや厳しい結果となりました。これらを踏まえての改善が求められます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	24	10	121	0	0	3	3.4	4.0
	15.2%	6.3%	76.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.74	1.12
Q2.この授業への出席率	138	15	2	0	0	3	4.9	4.8
	87.3%	9.5%	1.3%	0.0%	0.0%	1.9%	0.37	0.47
Q3.授業に対する集中度	85	52	17	1	0	3	4.4	4.2
	53.8%	32.9%	10.8%	0.6%	0.0%	1.9%	0.71	0.83
Q4.質問をしたか	63	46	26	7	12	4	3.9	3.1
	39.9%	29.1%	16.5%	4.4%	7.6%	2.5%	1.21	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	16	5	11	19	102	5	1.8	1.9
	10.1%	3.2%	7.0%	12.0%	64.6%	3.2%	1.33	1.34
Q6.教員の準備と熱意	63	41	40	5	7	2	3.9	4.2
	39.9%	25.9%	25.3%	3.2%	4.4%	1.3%	1.09	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	56	51	36	9	6	0	3.9	4.1
	35.4%	32.3%	22.8%	5.7%	3.8%	0.0%	1.07	0.93
Q8.授業の進行速度	51	43	47	7	8	2	3.8	4.0
	32.3%	27.2%	29.7%	4.4%	5.1%	1.3%	1.11	0.92
Q9.学生の理解度の把握	61	46	36	11	4	0	3.9	4.0
	38.6%	29.1%	22.8%	7.0%	2.5%	0.0%	1.06	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	63	51	38	2	3	1	4.1	4.1
	39.9%	32.3%	24.1%	1.3%	1.9%	0.6%	0.93	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	62	42	45	1	2	6	4.1	4.1
	39.2%	26.6%	28.5%	0.6%	1.3%	3.8%	0.92	0.87
Q12.質問に対する対応	61	49	36	6	4	2	4.0	4.1
	38.6%	31.0%	22.8%	3.8%	2.5%	1.3%	1.00	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	56	41	49	2	3	7	4.0	4.0
	35.4%	25.9%	31.0%	1.3%	1.9%	4.4%	0.96	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	59	42	44	2	1	10	4.1	4.1
	37.3%	26.6%	27.8%	1.3%	0.6%	6.3%	0.90	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	55	46	46	2	5	4	3.9	4.0
	34.8%	29.1%	29.1%	1.3%	3.2%	2.5%	1.00	0.93
Q16.授業内容の理解度	53	54	39	7	2	3	4.0	4.0
	33.5%	34.2%	24.7%	4.4%	1.3%	1.9%	0.94	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	58	44	42	1	1	12	4.1	4.1
	36.7%	27.8%	26.6%	0.6%	0.6%	7.6%	0.88	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	73	47	33	1	1	3	4.2	4.1
	46.2%	29.7%	20.9%	0.6%	0.6%	1.9%	0.85	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	55	50	43	4	2	4	4.0	4.0
	34.8%	31.6%	27.2%	2.5%	1.3%	2.5%	0.93	0.94
Q20.授業の満足度	63	51	30	7	5	2	4.0	4.1
	39.9%	32.3%	19.0%	4.4%	3.2%	1.3%	1.03	0.90



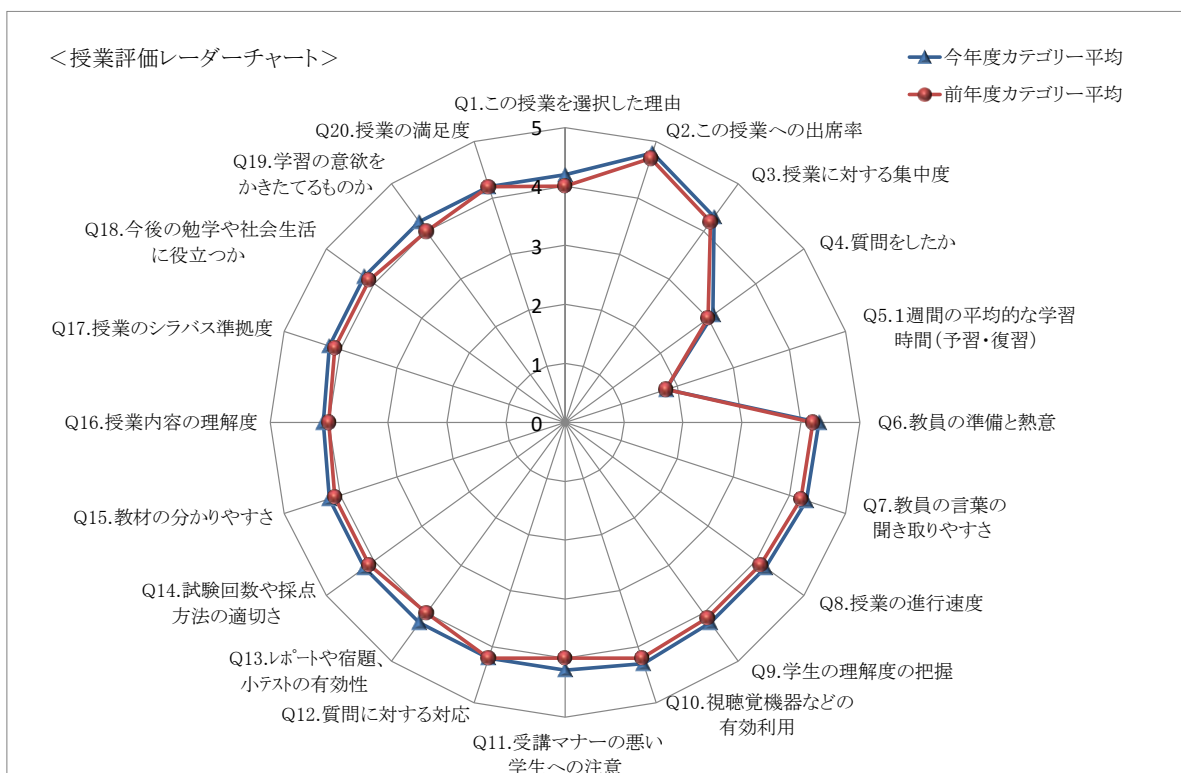
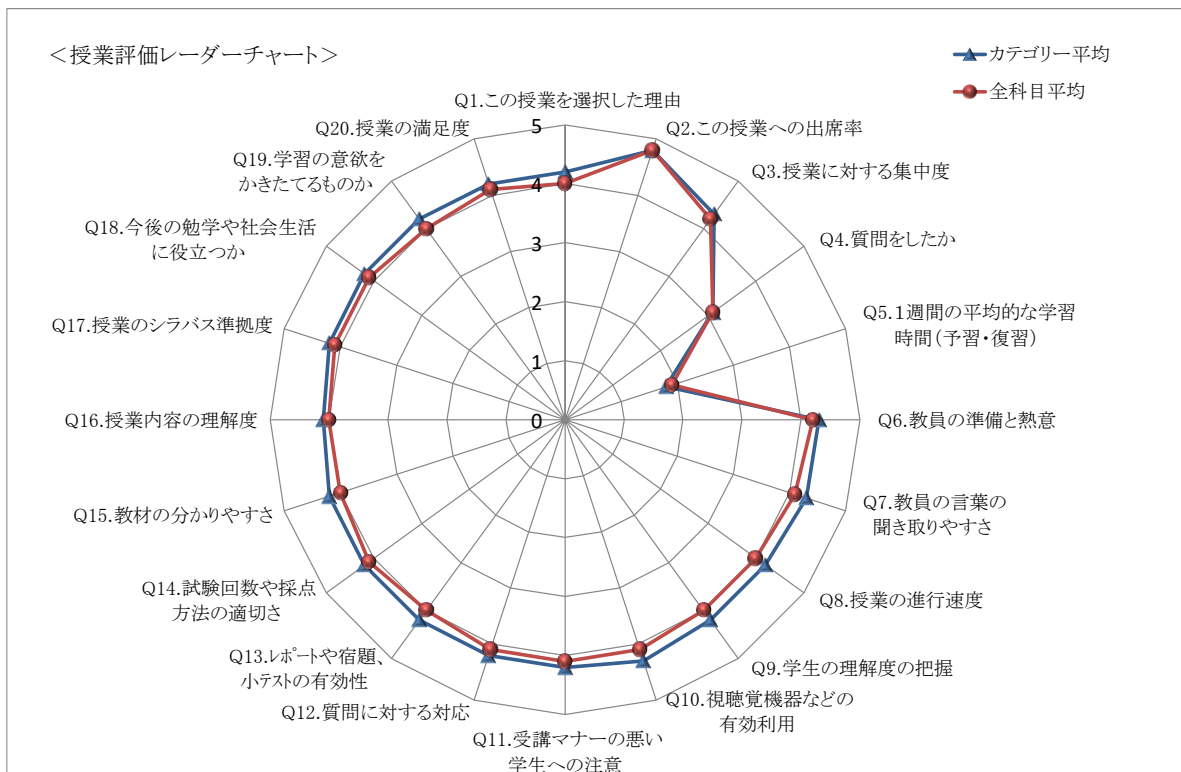
自由記述の項目の回答は少なめでしたが、「Q21.良かった点」として「エクセルとワードの使い方が分かった」「コンピュータの知識が深まりました。」など13件の記述がありました。一方、「Q22.改善してほしい点」は9件あり、「課題が終わったら終了にしてもらいたい」など、能力差への対応を求めるものが2件でした。その他には、パソコンが遅いという指摘など2件ありましたが、近々PCの入れ替えが行われるので解決するでしょう。

<専門関連科目>

専門関連科目に対する授業評価を総合的にみると、「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間」の4項目については全科目平均とほぼ一致しており、その他のすべての項目については、全科目平均を1～2ポイント上回っています。このカテゴリーの評価値を経年で比較すると、ほとんどの項目で今年度の評価値が昨年度同期の評価値を上回っています。また、例年通り、ほとんどすべての項目で、5段階評価の4を超える比較的高い評価が得られたといえます。

しかし、「Q4. 質問をしたか」と「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」の2項目だけは旧態依然の低い水準にとどまっています。特に、Q5の評価値を時系列でみると、学生の学習時間はアンケート開始以来、ほとんど改善されていません。教授する側は、ほとんど勉強しない学生から高い評価を受けたことの意味を少し考えた方がよさそうです。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	318	114	62	68	8	31	4.2	4.0
	52.9%	19.0%	10.3%	11.3%	1.3%	5.2%	1.11	1.12
Q2.この授業への出席率	467	107	16	0	0	11	4.8	4.8
	77.7%	17.8%	2.7%	0.0%	0.0%	1.8%	0.49	0.47
Q3.授業に対する集中度	274	250	61	7	1	8	4.3	4.2
	45.6%	41.6%	10.1%	1.2%	0.2%	1.3%	0.72	0.83
Q4.質問をしたか	119	109	174	58	111	30	3.1	3.1
	19.8%	18.1%	29.0%	9.7%	18.5%	5.0%	1.37	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	49	12	58	119	345	18	1.8	1.9
	8.2%	2.0%	9.7%	19.8%	57.4%	3.0%	1.22	1.34
Q6.教員の準備と熱意	305	179	93	4	4	16	4.3	4.2
	50.7%	29.8%	15.5%	0.7%	0.7%	2.7%	0.81	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	306	168	99	7	7	14	4.3	4.1
	50.9%	28.0%	16.5%	1.2%	1.2%	2.3%	0.87	0.93
Q8.授業の進行速度	253	200	122	3	3	20	4.2	4.0
	42.1%	33.3%	20.3%	0.5%	0.5%	3.3%	0.82	0.92
Q9.学生の理解度の把握	265	190	113	7	5	21	4.2	4.0
	44.1%	31.6%	18.8%	1.2%	0.8%	3.5%	0.86	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	289	167	112	6	2	25	4.3	4.1
	48.1%	27.8%	18.6%	1.0%	0.3%	4.2%	0.83	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	263	176	132	8	4	18	4.2	4.1
	43.8%	29.3%	22.0%	1.3%	0.7%	3.0%	0.87	0.87
Q12.質問に対する対応	262	181	108	4	3	43	4.2	4.1
	43.6%	30.1%	18.0%	0.7%	0.5%	7.2%	0.83	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	233	196	133	3	2	34	4.2	4.0
	38.8%	32.6%	22.1%	0.5%	0.3%	5.7%	0.82	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	250	177	121	1	2	50	4.2	4.1
	41.6%	29.5%	20.1%	0.2%	0.3%	8.3%	0.82	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	258	188	129	7	2	17	4.2	4.0
	42.9%	31.3%	21.5%	1.2%	0.3%	2.8%	0.84	0.93
Q16.授業内容の理解度	229	208	134	10	4	16	4.1	4.0
	38.1%	34.6%	22.3%	1.7%	0.7%	2.7%	0.86	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	251	182	122	3	1	42	4.2	4.1
	41.8%	30.3%	20.3%	0.5%	0.2%	7.0%	0.81	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	254	197	124	4	1	21	4.2	4.1
	42.3%	32.8%	20.6%	0.7%	0.2%	3.5%	0.81	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	250	197	129	4	3	18	4.2	4.0
	41.6%	32.8%	21.5%	0.7%	0.5%	3.0%	0.83	0.94
Q20.授業の満足度	277	194	110	4	4	12	4.2	4.1
	46.1%	32.3%	18.3%	0.7%	0.7%	2.0%	0.83	0.90

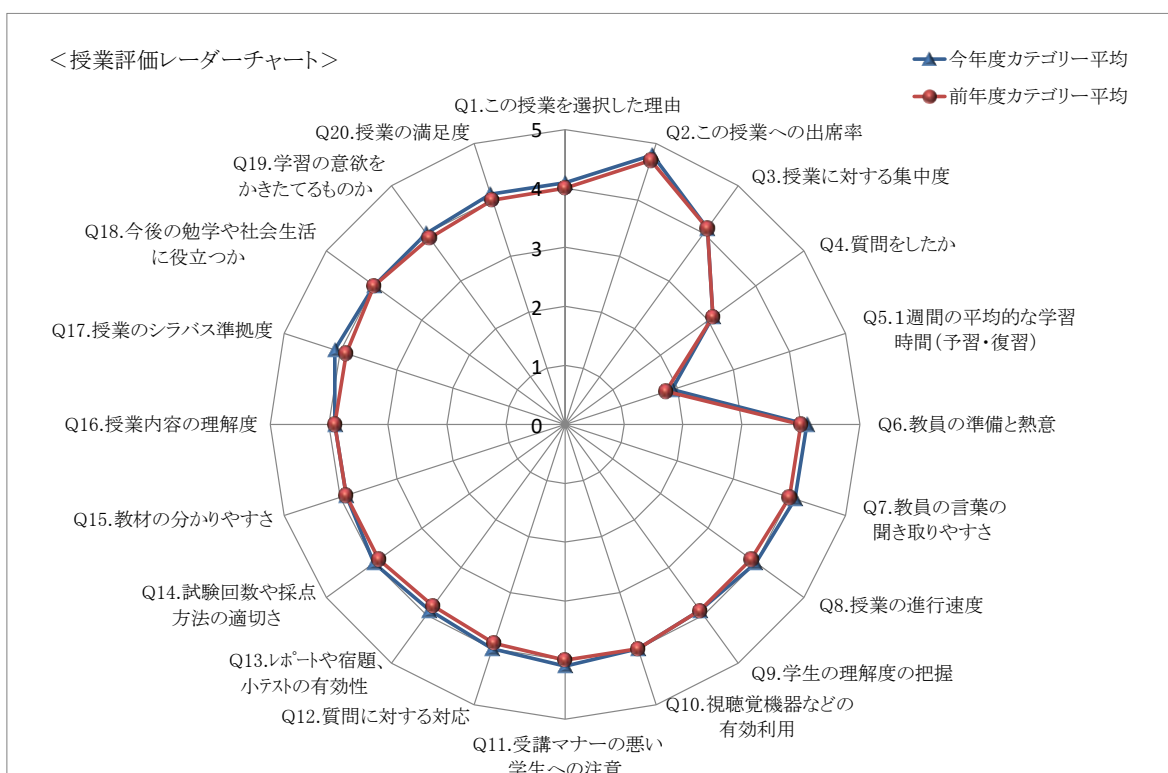
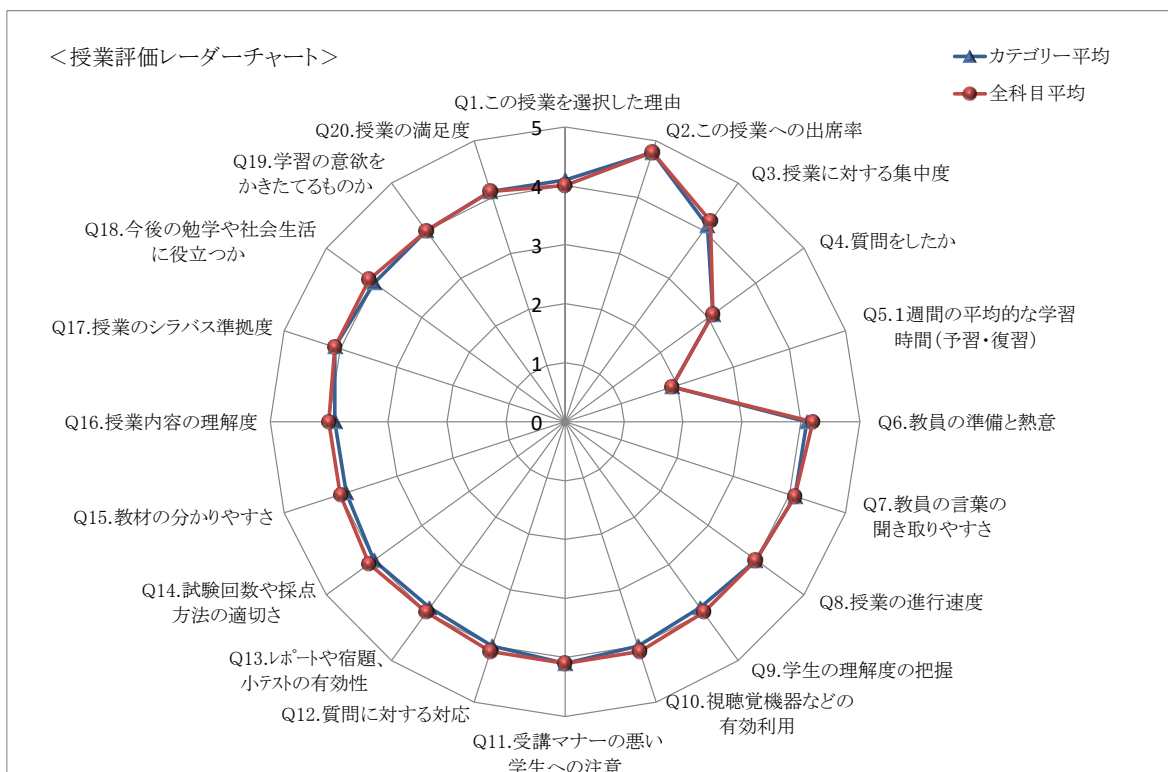


自由記述を見ると、「Q21.良かった点」としては、「資料の他に関連している事柄についても説明してくれるので興味を持つことが多い。」、「映像や、実際の写真などがプロジェクターなどで写され、より理解力が深まった点。」、「いろいろな価値観、考え方を学べる点。」、「細かいデータや資料を配布する点。」、「講義内容が身近な問題でおもしろい。」、「毎回、疑問質問にレスポンスがあるので理解不足におちいらなくて良い。」などがありました。「Q22.改善してほしい点」としては、「大学の講義なので仕方ないですが、小学生でもわかる説明の方が、あとあと役に立つように思う。」「テストの採点がとても厳しい。」、「もっとテストの問題の出し方、採点の仕方をわかりやすくして欲しい。」、「学校の事務が意見を反映しない。」、「2時間目に約8割がピ逃げをしている。」、「1講目は出席する人が多いが2講目の出席が悪く、明らかに人が減っているのに対し、生徒に何か言ってください。」などがありました。

<商学科専門科目>

商学科専門科目平均は「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、対照的に「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」が大変低く、また「Q4. 質問をしたか」もそれに次いで低いという全科目平均と同様の特徴がみられました。次に商学科専門科目平均と全科目平均の項目別評価傾向を比較すると、商学科専門科目平均が全科目平均を上回る項目はなく、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q12. 質問に対する対応」、「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q20. 授業の満足度」で全科目平均が商学科専門科目平均を僅かばかり上回る結果となりました。次に今年度の商学科専門科目平均と前年度の同科目平均を比較した結果をみると、こちらも評価傾向においてほぼ昨年同様の結果となりましたが、今年度改善の兆しも窺えます。項目別では「Q1. この授業を選択した理由」、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q12. 質問に対

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	304	202	107	45	18	35	4.1	4.0
	42.8%	28.4%	15.0%	6.3%	2.5%	4.9%	1.05	1.12
Q2.この授業への出席率	570	122	11	2	0	6	4.8	4.8
	80.2%	17.2%	1.5%	0.3%	0.0%	0.8%	0.46	0.47
Q3.授業に対する集中度	264	308	98	27	5	9	4.1	4.2
	37.1%	43.3%	13.8%	3.8%	0.7%	1.3%	0.85	0.83
Q4.質問をしたか	131	126	218	87	126	23	3.1	3.1
	18.4%	17.7%	30.7%	12.2%	17.7%	3.2%	1.34	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	75	14	66	156	383	17	1.9	1.9
	10.5%	2.0%	9.3%	21.9%	53.9%	2.4%	1.30	1.34
Q6.教員の準備と熱意	259	277	145	6	5	19	4.1	4.2
	36.4%	39.0%	20.4%	0.8%	0.7%	2.7%	0.82	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	252	270	159	10	11	9	4.1	4.1
	35.4%	38.0%	22.4%	1.4%	1.5%	1.3%	0.88	0.93
Q8.授業の進行速度	224	247	208	9	8	15	4.0	4.0
	31.5%	34.7%	29.3%	1.3%	1.1%	2.1%	0.88	0.92
Q9.学生の理解度の把握	225	222	224	10	8	22	3.9	4.0
	31.6%	31.2%	31.5%	1.4%	1.1%	3.1%	0.90	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	255	193	229	11	7	16	4.0	4.1
	35.9%	27.1%	32.2%	1.5%	1.0%	2.3%	0.92	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	265	257	162	7	3	17	4.1	4.1
	37.3%	36.1%	22.8%	1.0%	0.4%	2.4%	0.83	0.87
Q12.質問に対する対応	223	237	197	2	3	49	4.0	4.1
	31.4%	33.3%	27.7%	0.3%	0.4%	6.9%	0.83	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	221	189	244	4	4	49	3.9	4.0
	31.1%	26.6%	34.3%	0.6%	0.6%	6.9%	0.88	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	219	183	200	3	3	103	4.0	4.1
	30.8%	25.7%	28.1%	0.4%	0.4%	14.5%	0.87	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	232	184	258	8	7	22	3.9	4.0
	32.6%	25.9%	36.3%	1.1%	1.0%	3.1%	0.92	0.93
Q16.授業内容の理解度	212	265	203	12	7	12	3.9	4.0
	29.8%	37.3%	28.6%	1.7%	1.0%	1.7%	0.87	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	219	194	166	5	1	126	4.1	4.1
	30.8%	27.3%	23.3%	0.7%	0.1%	17.7%	0.84	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	233	269	177	3	6	23	4.0	4.1
	32.8%	37.8%	24.9%	0.4%	0.8%	3.2%	0.83	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	232	234	212	10	8	15	4.0	4.0
	32.6%	32.9%	29.8%	1.4%	1.1%	2.1%	0.89	0.94
Q20.授業の満足度	259	247	175	11	7	12	4.1	4.1
	36.4%	34.7%	24.6%	1.5%	1.0%	1.7%	0.88	0.90



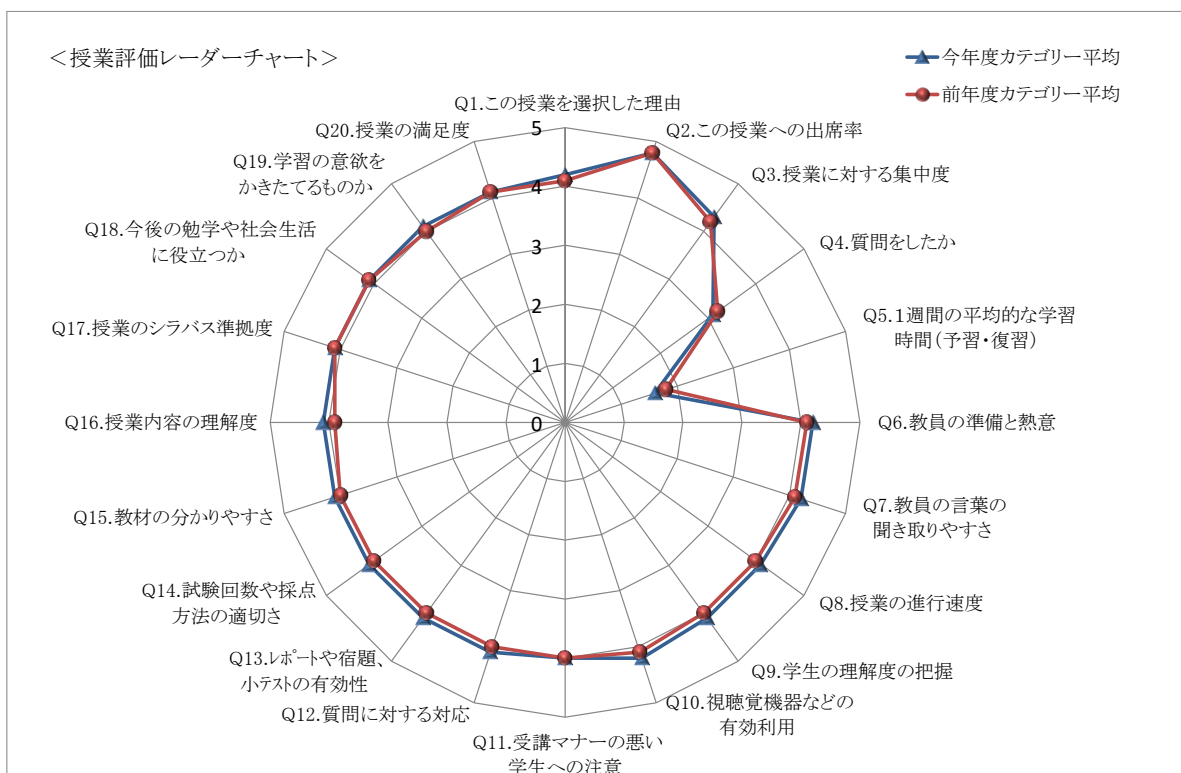
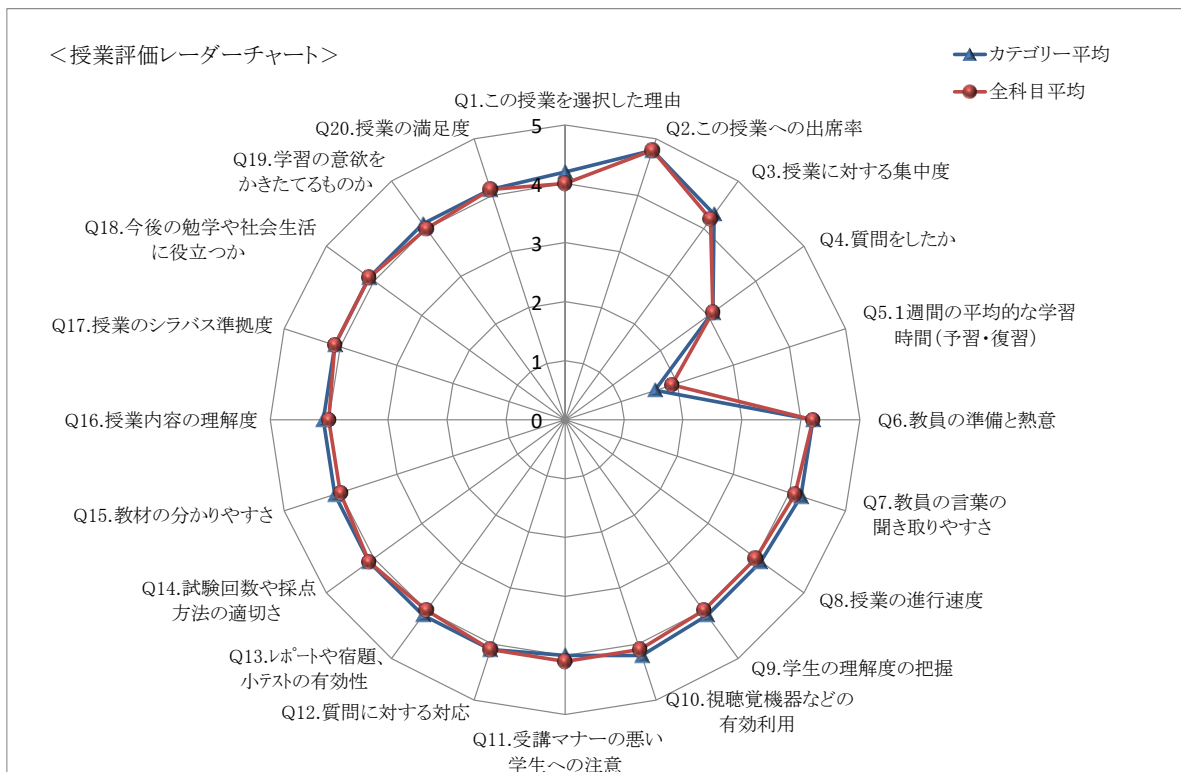
する対応」、「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」で今年度の評価が若干向上しています。

自由記述内容を見ると「Q21. 授業で特に良かった点」では、「自分が大学で学びたいと思っていたことを詳しく学ぶことができた点」、「将来に必要な知識を学ぶことができた点」、「説明がていねい」、「プリントが見やすいので良いと思います」といった事が挙げられています。「Q22. 授業で特に改善してほしい点」では、「テストをもう少しかんたんにしてほしい」、「もう少し板書をわかりやすくしてほしい」、「もう少しプリントが欲しい」といった要望がありました。「Q23. その他の意見・要望」は、「Wi-Fiをつけてほしい。夏に向けてエアコンをつけてほしい(授業に集中できない)」、「マイクの調子がわるい」、「喫煙所を復活させてほしい」などがありました。

<観光産業学科専門科目>

観光産業学科専門科目の各質問項目に対する授業評価は、レーダーチャートを見ると分かるように、多くの項目の平均が全体科目平均をわずかに上回っています。その中で、0.2ポイント上回っているのが「Q1.この授業を選択した理由」です。また、0.1ポイント上回っているのは、「Q3.この授業に対する集中度」「Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ」など、8項目で上っています。一方、「Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」に関しては0.3ポイント下回っており、他には0.1ポイント低い「Q11.受講マナーの悪い学生への注意」だけです。したがって、全科目の中で全体科目平均よりはやや評価が高い評価を受けているといえるでしょう。昨年度は全体に平均的レベルに収まりましたが、それに比較しわずかながら全般に改善が行われたとみなせるでしょう。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	278	120	84	52	3	29	4.2	4.0
	49.1%	21.2%	14.8%	9.2%	0.5%	5.1%	1.04	1.12
Q2.この授業への出席率	476	76	8	1	3	2	4.8	4.8
	84.1%	13.4%	1.4%	0.2%	0.5%	0.4%	0.51	0.47
Q3.授業に対する集中度	231	259	61	9	2	4	4.3	4.2
	40.8%	45.8%	10.8%	1.6%	0.4%	0.7%	0.74	0.83
Q4.質問をしたか	103	119	159	51	101	33	3.1	3.1
	18.2%	21.0%	28.1%	9.0%	17.8%	5.8%	1.35	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	43	15	32	69	398	9	1.6	1.9
	7.6%	2.7%	5.7%	12.2%	70.3%	1.6%	1.20	1.34
Q6.教員の準備と熱意	226	204	119	6	3	8	4.2	4.2
	39.9%	36.0%	21.0%	1.1%	0.5%	1.4%	0.83	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	234	191	131	4	3	3	4.2	4.1
	41.3%	33.7%	23.1%	0.7%	0.5%	0.5%	0.84	0.93
Q8.授業の進行速度	215	191	137	6	1	16	4.1	4.0
	38.0%	33.7%	24.2%	1.1%	0.2%	2.8%	0.83	0.92
Q9.学生の理解度の把握	211	197	134	4	4	16	4.1	4.0
	37.3%	34.8%	23.7%	0.7%	0.7%	2.8%	0.84	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	241	191	114	5	4	11	4.2	4.1
	42.6%	33.7%	20.1%	0.9%	0.7%	1.9%	0.84	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	194	189	157	9	1	16	4.0	4.1
	34.3%	33.4%	27.7%	1.6%	0.2%	2.8%	0.85	0.87
Q12.質問に対する対応	214	177	142	2	0	31	4.1	4.1
	37.8%	31.3%	25.1%	0.4%	0.0%	5.5%	0.82	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	192	187	158	2	1	26	4.1	4.0
	33.9%	33.0%	27.9%	0.4%	0.2%	4.6%	0.82	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	197	182	144	3	1	39	4.1	4.1
	34.8%	32.2%	25.4%	0.5%	0.2%	6.9%	0.82	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	212	187	147	6	1	13	4.1	4.0
	37.5%	33.0%	26.0%	1.1%	0.2%	2.3%	0.84	0.93
Q16.授業内容の理解度	197	204	147	9	1	8	4.1	4.0
	34.8%	36.0%	26.0%	1.6%	0.2%	1.4%	0.83	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	202	179	144	1	1	39	4.1	4.1
	35.7%	31.6%	25.4%	0.2%	0.2%	6.9%	0.82	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	204	220	125	6	0	11	4.1	4.1
	36.0%	38.9%	22.1%	1.1%	0.0%	1.9%	0.79	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	203	195	151	5	1	11	4.1	4.0
	35.9%	34.5%	26.7%	0.9%	0.2%	1.9%	0.83	0.94
Q20.授業の満足度	218	211	126	5	2	4	4.1	4.1
	38.5%	37.3%	22.3%	0.9%	0.4%	0.7%	0.81	0.90

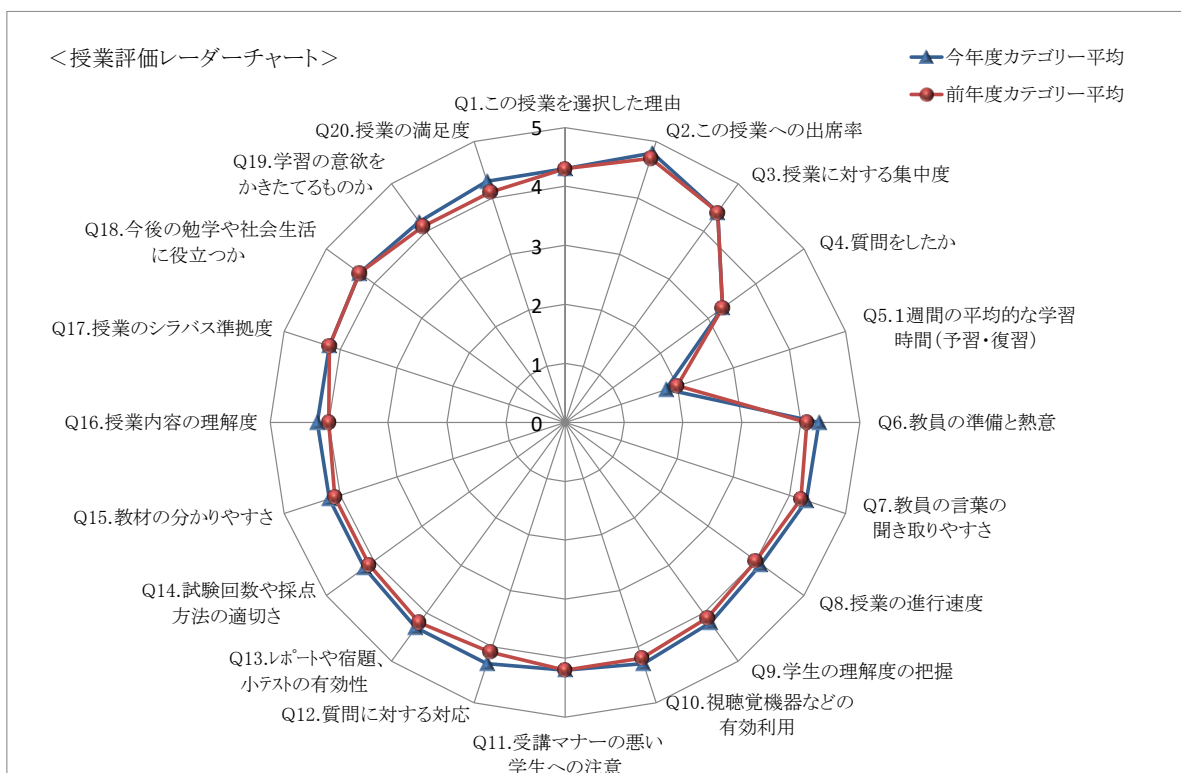
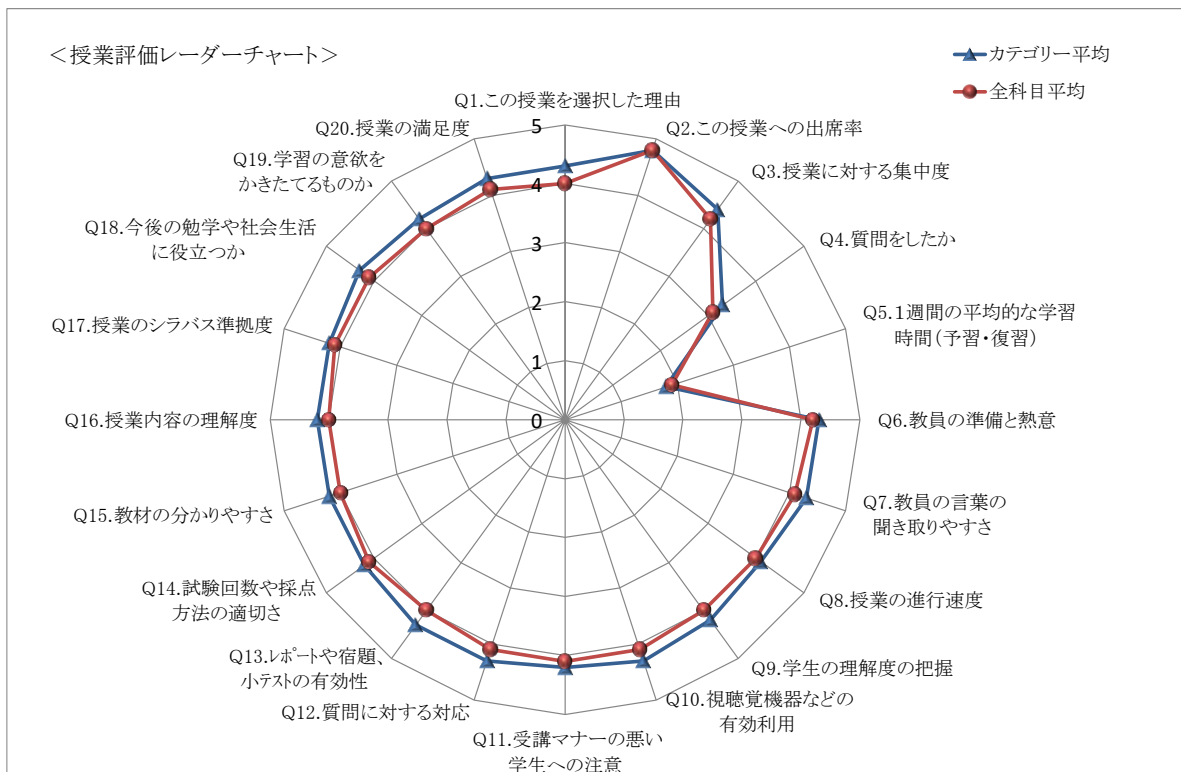


自由記述の回答については、「Q21. 良いと評価するコメント数が 46 件、「Q22. 改善を求めたコメント」数が 24 件、その他意見・要望のコメント数が 3 件でした。良いと評価するコメントで目立った内容では、「ビデオとプリントの内容を照らし合わせながら学べること」や「タイムリーな話題があって分かりやすかった！！」など、AV 活用や時事的話題提供への評価が目立ちます。一方、改善を求める意見では、「教科書読みをなくしてほしい。(略)」「テスト当日の授業内容もテストに出すのをやめてほしいです。(略)」など、授業方針への不満がみられました。これらに関しては、事前にその方針を取る理由の説明を十分にして理解されるようにしたいところです。

<専門キャリアアップ科目>

専門キャリアアップ科目も全科目平均と同様に「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、逆に「Q5.1 週間の平均的な学習時間（予習・復習）」、続いて「Q4. 質問をしたか」が大変低いのが基本的特徴です。専門キャリアアップ科目のカテゴリー平均と全科目平均の項目別比較では、「Q2. この授業への出席率」と「Q5.1 週間の平均的な学習時間（予習・復習）」以外は全ての項目で専門キャリアアップ科目平均が全科目平均を上回りました。特に「Q1. この授業を選択した理由」や「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」で上回り方が相対的に大きく、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q12. 質問に対する対応」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」での改善も次いで目を引きます。専門キャリアアップ科目の今年度カテゴリー平均を前年度のカテゴリー平均と比較すると、おおむね昨年同様の傾向ですが、一部でやや改善がみら

質問内容	上段: 平均値						カテゴリー	全科目
	5	4	3	2	1	無回答		
Q1.この授業を選択した理由	77	77	6	6	2	4	4.3	4.0
	44.8%	44.8%	3.5%	3.5%	1.2%	2.3%	0.80	1.12
Q2.この授業への出席率	152	16	3	0	1	0	4.8	4.8
	88.4%	9.3%	1.7%	0.0%	0.6%	0.0%	0.49	0.47
Q3.授業に対する集中度	84	71	16	1	0	0	4.4	4.2
	48.8%	41.3%	9.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.68	0.83
Q4.質問をしたか	28	50	57	9	23	5	3.3	3.1
	16.3%	29.1%	33.1%	5.2%	13.4%	2.9%	1.22	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	9	6	19	41	96	1	1.8	1.9
	5.2%	3.5%	11.0%	23.8%	55.8%	0.6%	1.11	1.34
Q6.教員の準備と熱意	84	59	29	0	0	0	4.3	4.2
	48.8%	34.3%	16.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.75	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	80	67	25	0	0	0	4.3	4.1
	46.5%	39.0%	14.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.71	0.93
Q8.授業の進行速度	73	61	30	3	4	1	4.1	4.0
	42.4%	35.5%	17.4%	1.7%	2.3%	0.6%	0.93	0.92
Q9.学生の理解度の把握	71	68	28	1	2	2	4.2	4.0
	41.3%	39.5%	16.3%	0.6%	1.2%	1.2%	0.82	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	84	64	21	1	1	1	4.3	4.1
	48.8%	37.2%	12.2%	0.6%	0.6%	0.6%	0.76	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	73	58	32	2	0	7	4.2	4.1
	42.4%	33.7%	18.6%	1.2%	0.0%	4.1%	0.80	0.87
Q12.質問に対する対応	72	63	29	0	0	8	4.3	4.1
	41.9%	36.6%	16.9%	0.0%	0.0%	4.7%	0.74	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	73	64	28	1	0	6	4.3	4.0
	42.4%	37.2%	16.3%	0.6%	0.0%	3.5%	0.75	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	73	58	34	3	0	4	4.2	4.1
	42.4%	33.7%	19.8%	1.7%	0.0%	2.3%	0.82	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	72	66	30	1	1	2	4.2	4.0
	41.9%	38.4%	17.4%	0.6%	0.6%	1.2%	0.79	0.93
Q16.授業内容の理解度	69	72	24	3	1	3	4.2	4.0
	40.1%	41.9%	14.0%	1.7%	0.6%	1.7%	0.79	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	67	58	30	1	0	16	4.2	4.1
	39.0%	33.7%	17.4%	0.6%	0.0%	9.3%	0.77	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	81	64	24	0	0	3	4.3	4.1
	47.1%	37.2%	14.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.71	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	69	64	36	0	1	2	4.2	4.0
	40.1%	37.2%	20.9%	0.0%	0.6%	1.2%	0.80	0.94
Q20.授業の満足度	83	66	19	1	1	2	4.3	4.1
	48.3%	38.4%	11.0%	0.6%	0.6%	1.2%	0.75	0.90



れます。項目別では「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q12. 質問に対する対応」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q20. 授業の満足度」で少しばかり評価の回復がみられました。

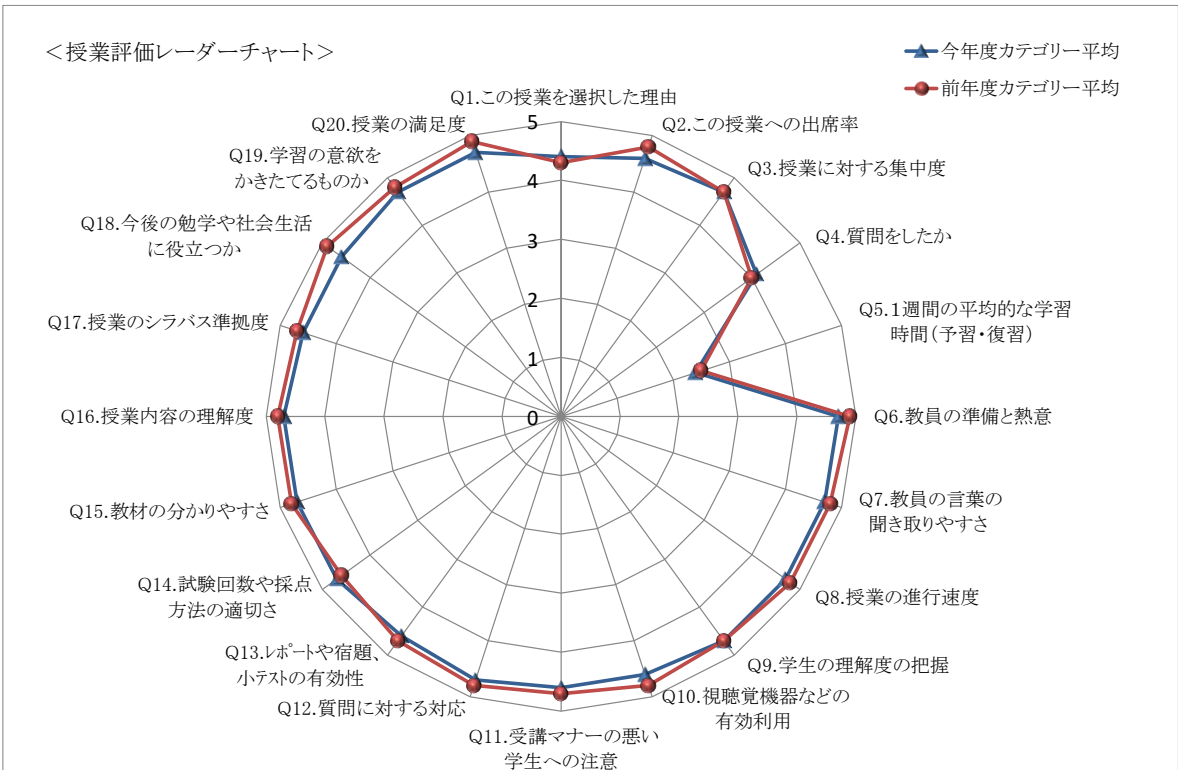
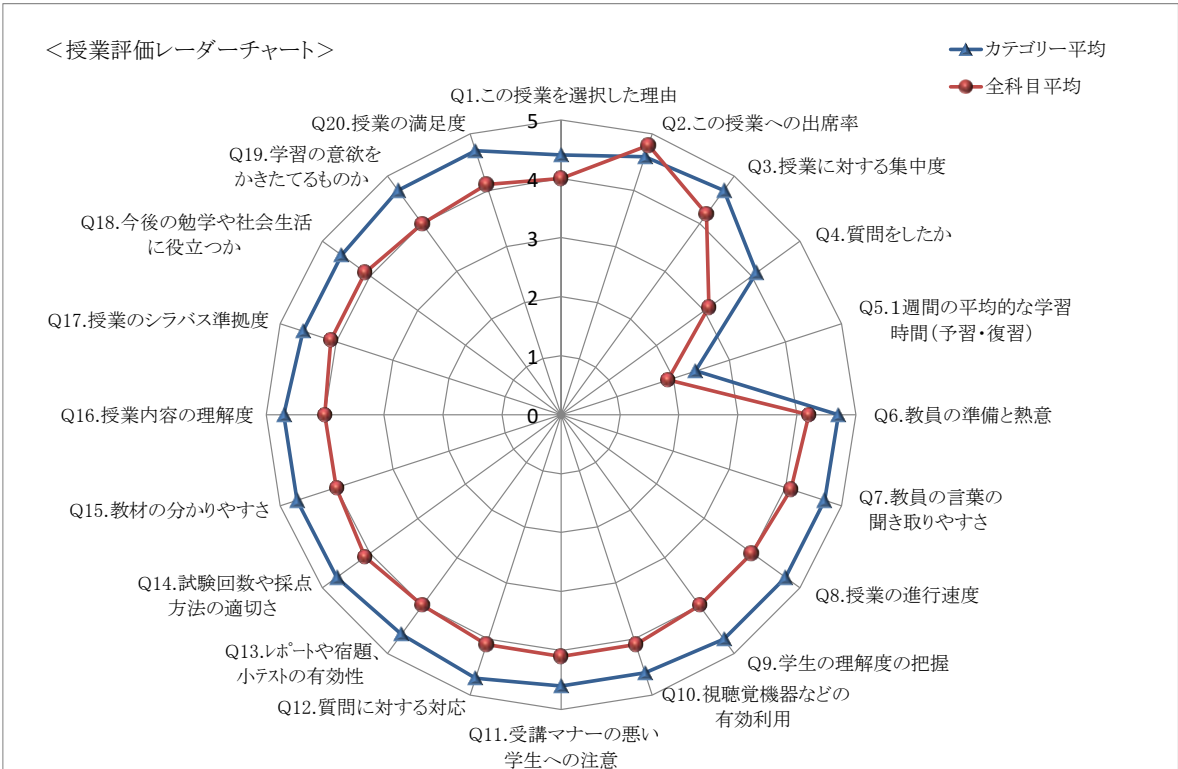
自由記述内容を見ると「Q21. 授業で特に良かった点」では、「資格がとれるところ」、「やっつけて身につくのが分かる」、「プリントによって復習がやりやすい点」、「過去の検定問題の配布と解答、解説があり、教科書で学んだ知識を確認できるためわかりやすく勉強しやすい点」といった意見が寄せられました。「Q. 22 授業で特に改善してほしい点」では、「教室があつい」、「ペースが早いのでノート書くのに集中してしまい、理解するのが大変なので、ペースをおとしてほしい。終わる時間がのびることが何回もあるので時間はしっかり守ってほしい」といった要望がありました。「その他の意見・要望」では、「学校の事務が意見を反映しない」等の意見・要望がありました。

<教職科目に関して>

教職科目に関する「授業評価」の全体的な傾向は、「全教科平均」と比較したレーダーチャートに示されている通り、「Q2.この授業への出席率」の項目のみ下回りましたが、ほぼすべての項目にわたって「全教科平均」をはるかに上回る高い評価を得ています。前年度平均と比べても、ほぼすべての項目にわたり満点に近い高い評価を得ていることに変わりありません。

「自由記述」で印象的だったのは、「最後まで感動がある授業だった」という記述です。教員を目指し、グループ学習を通して切磋琢磨し、教育実習で力不足を実感し、その後の反省を通して成長できたというような記述は例年通り多く見られました。ただ、それらの根本に「感動のある授業」があるのだということ気付かせる一言でした。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値 下段: 標準偏差	
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	46	16	16	0	0	0	4.4	4.0
	59.0%	20.5%	20.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.80	1.12
Q2.この授業への出席率	51	24	3	0	0	0	4.6	4.8
	65.4%	30.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.56	0.47
Q3.授業に対する集中度	56	20	2	0	0	0	4.7	4.2
	71.8%	25.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.51	0.83
Q4.質問をしたか	38	23	10	3	4	0	4.1	3.1
	48.7%	29.5%	12.8%	3.8%	5.1%	0.0%	1.10	1.38
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	18	3	4	15	36	2	2.4	1.9
	23.1%	3.8%	5.1%	19.2%	46.2%	2.6%	1.64	1.34
Q6.教員の準備と熱意	60	13	3	1	0	1	4.7	4.2
	76.9%	16.7%	3.8%	1.3%	0.0%	1.3%	0.60	0.87
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	58	16	3	1	0	0	4.7	4.1
	74.4%	20.5%	3.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.61	0.93
Q8.授業の進行速度	58	15	5	0	0	0	4.7	4.0
	74.4%	19.2%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.59	0.92
Q9.学生の理解度の把握	58	15	5	0	0	0	4.7	4.0
	74.4%	19.2%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.59	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	54	16	8	0	0	0	4.6	4.1
	69.2%	20.5%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.67	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	53	19	6	0	0	0	4.6	4.1
	67.9%	24.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.63	0.87
Q12.質問に対する対応	55	19	3	0	0	1	4.7	4.1
	70.5%	24.4%	3.8%	0.0%	0.0%	1.3%	0.55	0.88
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	53	20	5	0	0	0	4.6	4.0
	67.9%	25.6%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.60	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	53	18	4	0	0	3	4.7	4.1
	67.9%	23.1%	5.1%	0.0%	0.0%	3.8%	0.58	0.89
Q15.教材の分かりやすさ	55	18	4	0	0	1	4.7	4.0
	70.5%	23.1%	5.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.57	0.93
Q16.授業内容の理解度	56	19	3	0	0	0	4.7	4.0
	71.8%	24.4%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.54	0.92
Q17.授業のシラバス準拠度	51	21	4	0	0	2	4.6	4.1
	65.4%	26.9%	5.1%	0.0%	0.0%	2.6%	0.58	0.85
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	56	16	6	0	0	0	4.6	4.1
	71.8%	20.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.62	0.88
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	56	18	4	0	0	0	4.7	4.0
	71.8%	23.1%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.57	0.94
Q20.授業の満足度	58	15	5	0	0	0	4.7	4.1
	74.4%	19.2%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.59	0.90



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161